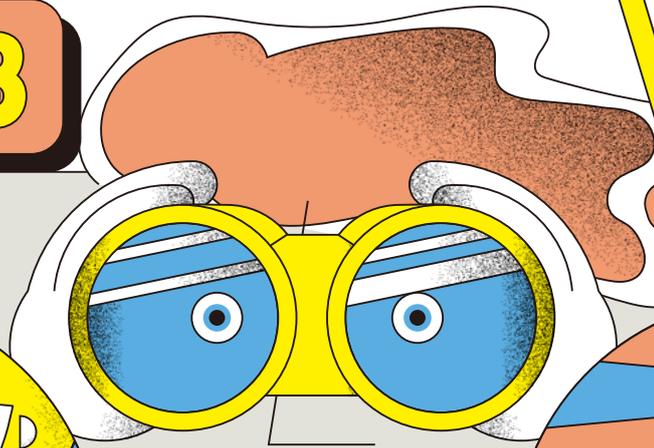
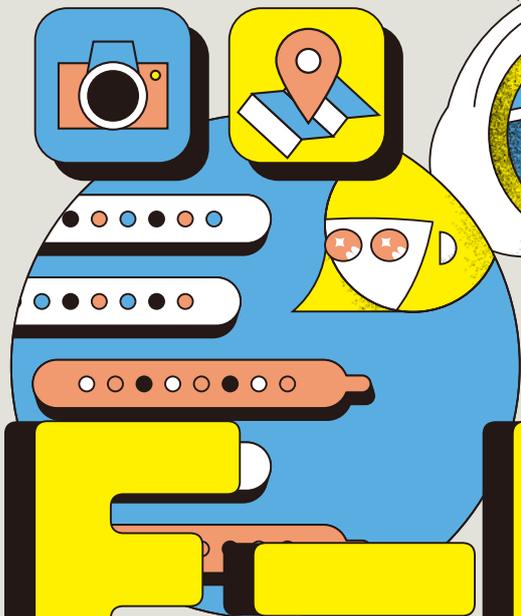
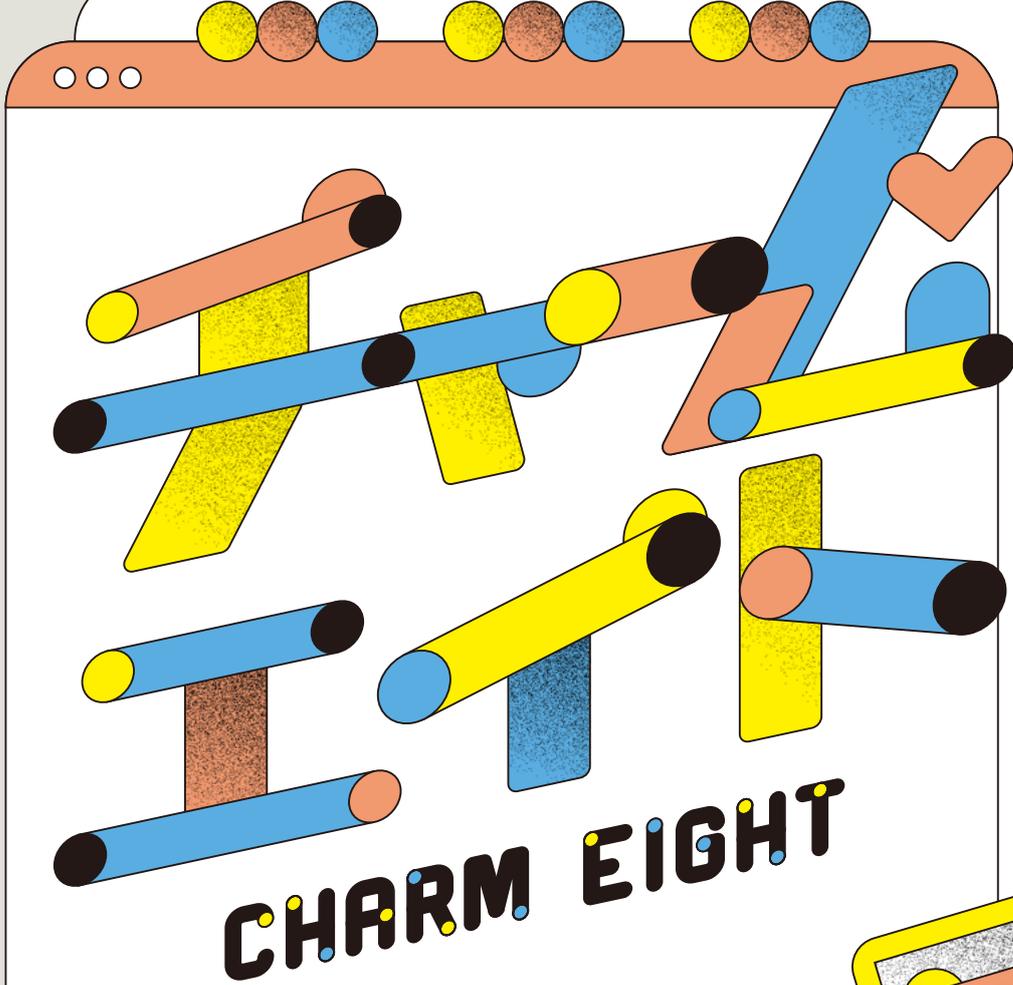


私たちがしらべて、見つけた地域の魅力。

BRAND-NEW

FRAGMENT



E-BOOK

八戸高等学校

team: M.S.T



school: 青森県立八戸西高等学校
member: 十枝内悠翔・菅原稜・松橋練

team: チーム50周年



school: 青森県立八戸西高等学校
member: 西垣秀飛・堤内彩空・山形彩羽

team: チーム地域



school: 八戸工業大学第一高等学校
member: 村本竜也・菊池厘友・工藤柊人・上村佳史

team: まっく。



school: 青森県立八戸水産高等学校
member: 川野綾花・砂川倅・川野萌花

team: TMKD



school: 青森県立八戸水産高等学校
member: 田村心優・木村花蓮・出貝紅葉

team: Four Pears



school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校
member: 浪岡葉純・佐々木美波・三戸瞳・坂口美結

team: 田中組



school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校
member: 城前百花・高橋ひまり・田中佑花・松田彩瑚

team: Mrs.July sisters



school: 青森県立八戸商業高等学校
member: 千葉瑠菜・東野愛依

team: オムライス



school: 青森県立八戸北高等学校
member: 岩井原沙紀・川上穂乃香・石井音緒

team: まみむめ



school: 青森県立八戸北高等学校
member: 藍原睦稀・平田茉愛・土井美奈実・大竹鳴美

team: くぼささじん



school: 青森県立八戸高等学校
member: 久保織音・佐々木麗奈・神蒼空

team: あらわたやま



school: 青森県立八戸高等学校
member: 新井織心・渡辺二湖・山本伶紗

team: サザナミ



school: 青森県立八戸工業高等学校
member: 下野漣・村田友寿紀・山館利流・高橋侑輝



髪型や服装は自由 働きやすさ抜群のコールセンター

株式会社アテナ

大阪に本社があり、東京・北九州・四国など全国に事務所を展開。八戸では取引企業のサービスや商品を電話をかけて売るといったコールセンター業務をしています。アテナ全体の従業員数は300人。親会社であるウインクルムはラテン語で「絆」を意味し、人材派遣業が主な業務内容になっているところから、人と人との繋がり・絆を大切にしていきたいという思いが込められています。

取材した人

齋藤悠汰さん 入社2年目

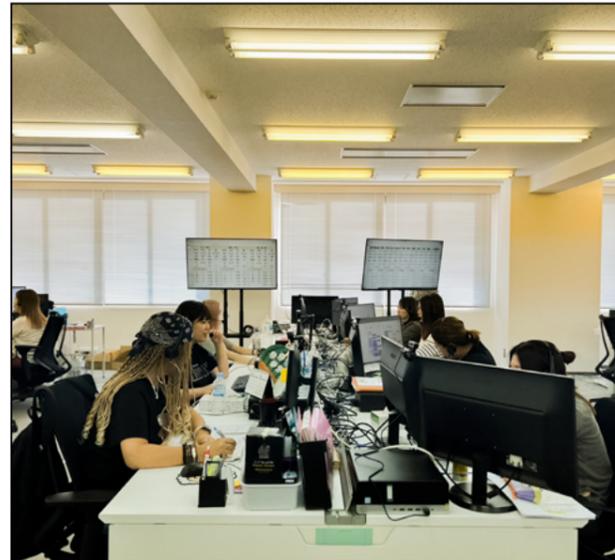


大阪府出身。八戸拠点マネージャーとして、社員へのアドバイスや個人の目標、課題設定や不安解消の業務をしています。6歳から21歳までサッカーをしていて、大学ではサッカー全米大会で優勝したそうです。

company profile :



業種 BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)
設立 2017(平成29)年
住所 八戸市十八日町7
ジブラルタ八戸ビル



Q.八戸の住みやすいポイントは？

A.人が少なくのどかなところ。のどかと言ってもすごい田舎というわけではなく、むしろ都会チックだと思っています。ただ、僕自身、東京や大阪で暮らしていたので、それに比べると田舎ですが、とても住みやすいと感じます。そして夏が暑くない。これはとても快適です。また、職場と自宅が近ければ車がなくても生活できることも住みやすいポイントだと思います。

八戸の魅力

Q.市外、県外の人にPRしたいことは？

A.お酒が好きなので、中心街にお酒を提供しているお店が多くあっていいと思います。そしてやっぱり海産物は大阪で食べるよりも断然おいしいと感じます。八戸ではイカが有名と言われていますが、本当に新鮮でおいしいです。そして、八食センターは最高ですね。中で買ったものを七厘村ですぐに食べた時はとても感動しました。



Q.入社のきっかけは？

A.すでに受かっていたもう1社と迷っていましたが、面接時の担当者(吉田さん)に「まず何になりたいか、自分がどうしていきたいか」と質問され、それに対して「お金を稼ぎたい、家を買いたい」など、いろいろ話しました。すると吉田さんはすぐに「じゃあ叶えたるわ」と言ったのです。「この人と仕事をしたら本当にそうなるのではないか」と自分の中で思えたことが、この会社への入社のきっかけでした。

企業の魅力

Q.この会社の良いところは？

A.多くのクライアントさんと取引をしているので、一つの会社で仕事をしながらさまざまな知識を学び、経験することができる場所です。そして何よりも、自分が社会に出て恥ずかしくないように成長することができます。僕自身、当初は敬語が使えない人間でした。ですが、電話を掛けていく中で話し方や会話の広げ方などの営業スキルを身に付けることができている。

Q.福利厚生は？

A.オフィスルームに冷蔵庫や自動販売機、食料などを置き、メンバーが仕事をストレスなく快適に進められるような工夫をしています。そして、メンバーからの要望があればサービスを随時増やしています。また、会社全体で盛り上がるということで、月に1回、八戸拠点のメンバー全員と管理者でご飯会をしています。目標達成やそれ以上の成績を残せば、インセンティブという形で給与とは別に賞与を会社から提供しています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

「メンバーに髪型・服装の規定無し!？」
メンバーに髪型や髪色、服装の規定を設けていないそうです。好きな色に髪を染めたり、好きな服を着て会社に行くことができます。それは仕事をする中でなるべくストレスを感じてほしくないという、メンバーを第一に考えている会社ならではの取り組みだと感じました。

取材してみた

team : M.S.T school: 青森県立八戸西高等学校 左から 菅原稜・十枝内悠翔・松橋練



菅原：自分の中のコールセンターのイメージは、堅苦しい格好をして、ずっとパソコンに向き合っている職場だと思っていました。でもアテナは全く違い、雰囲気が良いです。働く人を第一に考えると、ここまで一人一人が生き生きとするのだと分かりました。

十枝内：コールセンターというときちりした雰囲気を思い浮かべるのですが、実際に行ってみると適度な緩さでストレスを感じずに仕事ができていることに驚きました。また、その緩さもありながら仕事をしっかりやっている姿が格好良かったです。

松橋：オフィスに入って驚いたのは、髪や服装が自由な点でした。その上、職場の雰囲気はとても楽しそうで、本当に働きやすそうな環境でした。社員のことをしっかりと考えられる会社だからこの時代生き残っていくのだと感じました。



高い技術力に誇り 多様な金属部品を加工

株式会社テクトリー

半導体装置、医療機器、航空機などで使われる金属部品を切削・研削・放電といった技術を駆使して加工する事が主な業務です。従業員数44人。社名の由来は「テクニカル・ファクトリー」。多品種少量生産に特化しており、全国の中でも高い技術を持っているそうです。

取材した人

左から 伊藤大樹さん 入社30年目 ・ 齋藤裕太さん 入社14年目



伊藤さんは八戸市出身。工場長として、総務をはじめ広範囲の業務に携わっています。道の駅や温泉に行きながら湧き水をくみに行くのが休日の定番コース。水をくんでおくことと災害対策にもなるのでおすすめ！とのこと。

齋藤さんも八戸市出身で、生産部生産課の課長として部品の製造に加え、管理などの業務にも携わっています。ドライブが趣味で、この間は十和田湖や盛岡まで行って来たそうです。

company profile :



業種 その他の生産用機械・同部品製造業
設立 1995(平成7)年
住所 八戸市北インター工業団地1丁目3-41



企業の魅力

Q.この会社のいいところは？

A.伊藤さん 不況に強いところです。取引先会社は親会社の方も含めて100社以上あるので、何かあったときはその企業同士で助け合えるというのがいいところだと思います。
齋藤さん 仕事に対して自分の考えている加工を反映できることです。無茶なことをしない限りは、自分の考えで加工を進めていけるのが良いと思います。

Q.どんな時に達成感を感じる？

A.齋藤さん 金属部品を作るにはまず設計図を作って機械に入れてボタンを押せば機械が動き、設計図通りに作ってくれるのですが、その図面を作っていく過程でどうしてもできてしまう寸法や外観などの小さな問題点一つずつ解決していった最終的な図面が完成し、その製品が自分の考えていた通りに出来上がった時に達成感を感じます。

Q.職場の働きやすさは？(研修制度や福利厚生)

A.齋藤さん 研修制度では、外部セミナーに積極的に参加するようにしています。また、半期ごとの面談で「この期間はどのぐらいの評価でした」「あなたは何かできています(できていません)」という、学生の通信簿のようなものを一人一人に配布して、それを基にやりたいことを聞きながら、個人の教育計画を立てています。福利厚生として、バーベキューやボウリング大会を毎年開催しています。また、希望する従業員には誕生日ケーキを支給しています。



取材してみた team: M.S.T school: 青森県立八戸西高等学校 左から 菅原稜・十枝内悠翔・松橋隼



菅原: テクトリーさんは何よりも人が温かく、伊藤さんをはじめ多くの方に親切にいただきました。また、社員のスキルアップをサポートし、頑張った分はしっかりと還元される場所がすごくいいなと感じました。

十枝内: ものすごい数の大きな機械が工場内にあり、それをひとつひとつ使いこなしながら小さな部品をたくさん作っているところや、顕微鏡で細かく検査しているところを見て、品質管理にも厳しく、安心安全な部品を作っているところがすごいと思いました。

松橋: 中小企業ながらとても活発で力強い会社だと感じました。従業員数が44名という少人数であるにも関わらず本当に仕事に対して一生懸命に取り組んですごいいいと思いました。社員に対してとても手厚くサポートしている事がとても印象に残っています。



八戸の魅力

Q.八戸(北インター)に会社があるメリットは

A.伊藤さん 人材を採用しやすいことです。青森県人の気質として、とにかく同じことをちゃんとやり続けられるところがあります。これは良い面も悪い面もありますが、どんなことがあってもしっかり守ってきちんとやるという面で、とてもいい人材だと思っています。そして、非常にプラスに働いています。

Q.県外、市外の人にPRしたいことは

A.伊藤さん 館鼻岸壁朝市です。朝市が好きなのでよく行きます。あと、水をくみながら温泉に行ったり、道の駅に行ったりもします。道の駅で売っているものが一番安く新鮮で安全だと思っています。何よりもおいしいです。たまにハシゴすることもあるんです。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

「頑張った分、しっかり還元。だから頑張れる」
自分がやりたいことを進められる環境だそうです。さらに、頑張ったらその分福利厚生として還元されるので、より一層仕事を頑張ることができます。また、福利厚生の面では、会社でバーベキューを行ったり、ベトナム人との交流会が開催されているようです。今年ではできませんでしたがボウリング大会も毎年開催していたそうです。



快適な色彩環境づくりをお手伝い お客さま、社員、地域との「輪・和」が大切

鴨沢塗料株式会社

八戸市の本社と青森市の支店の2店舗で営業。従業員数は男性21人、女性8人の計29人。主に塗料および塗装資材・防水材の販売、看板資材の販売、清掃用品販売、建築物メンテナンス提案、色彩コンサルティングをしています。青森県と岩手県を主な商圏として事業を展開。経営理念は地域とのつながりや信頼を大切にすること。

取材した人 鴨沢博さん 入社25年目



八戸市出身。父、兄が代々社長を務めており、家族で会社経営に携わってきました。現在は専務取締役として従業員が働きやすい環境づくりに努めています。

company profile :



業種 塗料や塗装資材の販売
設立 1950(昭和25)年
住所 八戸市卸センター2丁目7-8



八戸の魅力

Q.八戸の良さは？

A. 燕島は素晴らしい場所だと思います。私たちは地元から見慣れてしまっていますが、遠くから来た人たちはみんな、きれいだったと言っていました。

Q.八戸に会社があるメリットは？

A. 私たちは3つの輪(circle)と和(harmony)を社章にしています。具体的には①お客さまとの輪・和②社員スタッフの輪・和③地域との輪・和です。鴨沢塗料が八戸にあることが、お客さまや地域との結びつきを強くしてくれていると思います。

Q.八戸が幅広い世代の人に刺さるのはどんなポイントだと思う？

A. 私は朝市が魅力の一つだと思います。八戸の館鼻岸壁朝市は規模が大きく、おいしい食べ物がたくさん売られていますよね。でも、小さい子どもが遊べるような施設がもっとあってもいいなとも思います。



企業の魅力

Q.強みにしている点は？

A. 塗料の色を作る、販売するなどさまざまな仕事がありますが、社員みんなが全てのことをできるとは限らないので役割分担をしながら助け合うチームプレイを大切にしています。そのため、会社の雰囲気は明るく働きやすいのではないかと思います。

Q.大切にしていることは？

A. 私たちは創業当初、八戸市中心街の寺横町で金物屋を営んでおり、その一部で塗料を扱っていました。時代の流れとともに塗料屋となり、1972(昭和47)年に現在の卸センターに本社を新築移転しました。今は時代的にも厳しくなっていますが、昔は忘年会や社員旅行などをしていました。でも、仕事だけではなく社員同士のつながりを大切にしていることは昔から変わりはありません。

Q.どんな時に喜びややりがいを感じる？

A. お客さまから注文を受け、信頼関係ができたことでもう一度頼まれた時は、私たちの仕事ぶりや対応が良かったのだと実感できうれしく思います。また、自分が担当した建物を見かけた時は、喜びややりがいを感じて自分自身の仕事の励みになります。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

社員にサッカーやバレーボールのスポーツチームに参加している人がいるそうです。他にも無理な残業はさせないなど、社員のプライベートも充実している働きやすい会社でした！

取材してみた team: チーム50周年 school: 青森県立八戸高等学校 左から 西垣秀飛・堤内彩空・山形彩羽



西垣: 同僚たちとの信頼関係の構築はもちろんお客さまのために多くの努力をし、雰囲気も非常に良く、とても良い企業だと思いました。また長い歴史もあり、地元に着根していて鴨沢塗料さんが丁寧に仕事と向き合っているのだと感じました。

堤内: 実際にペンキを作っているのを見られて良かったです。色々なペンキが置いてあって、探すのが大変そうだなと思いました。この会社の仕事は普段の私たちの生活の支えになっていることが分かりました。興味がでてきたのでもっと調べてみたいです。

山形: 職場内の雰囲気だけでなく地元の人との関係も良いと聞きました。実際に訪問した際にもお客さまと和気あいあいとした雰囲気でお話していて素敵だと思いました。このような企業があることがもっと広まれば八戸に残りたいと思う若者も増えると思います。



社員一人一人が個性を発揮できる職場 道路や水道工事、造園まで幅広い業務に対応 株式会社根城グリーン建設

水道管の工事、道路整備工事、樹木の剪定作業、公園の芝刈り、災害復興作業、新築住宅の外構工事など幅広い業種をこなしています。従業員数は50人で、そのうち国家資格を持つ人は29人。経営理念は「調和（輪を重ねて一つの方向に進みなさい。）」です。2020年の空間デザインコンテストでグランプリを受賞した経歴もあります。

取材した人

左から 清水雅人さん 入社8年目 ・ 山下美枝子さん 入社16年目
下沢友梨絵さん 入社5年目



清水さんは八戸市出身。常務取締役として造園以外のすべての部署をまとめています。山下さんも同市出身。造園事業の管理を担当しています。下沢さんも同市出身。エクステリアのチームリーダーを務め、主に一般住宅の庭づくりを担当しています。

company profile :



業種 土木、造園、水道
設立 1968(昭和43)年
住所 八戸市西白山台6丁目9-21



Q.強みにしているところは？

A.山下さん たくさんの方が働いている分、アイデアの引き出しが多いことは自慢です。転職して来た従業員もいるので、それぞれが多様な経験を持っていて、困ったことは助け合っています。私も元々は美術を学んでいましたが、家にある大きな木に心を引かれて造園に興味を持ちました。
下沢さん 以前は医療事務の仕事をしていましたが、庭造りに興味があり、この会社に入って少しずつ勉強してきました。周りの人も快く教えてくれて良い雰囲気の会社だと思います。

企業の魅力

Q.創業からどのようにして現在に至った？

A.清水さん 初めは造園のみを行っていました。そこから土木や庭の剪定などの需要を感じ、一つの会社の中で業務の幅がどんどん広がっていきました。今は官公庁の道路や水道、公園工事。維持から一般住宅の外構工事、庭の手入れなどさまざまなことを担っています。毎年、八戸市緑化まつりにも出展しています。

Q.どんな時に喜びややりがいを感じる？

A.山下さん お客様から感謝の言葉をいただいた時です。わざわざ電話で感謝を伝えてくださるお客様もいらっしゃいます。そのようなことがあると、要望通りに仕事ができたと感じ、うれしく思いますね。

Q.福利厚生に関する取り組みは？

A.清水さん 社内で親睦を深めるため、ポウリング大会や旅行などのイベントを行っています。他にも建設業に必要な資格がたくさんあるので、資格取得に必要な費用は会社が負担しています。資格を持っていると仕事をやる上での大きな自信につながっていきますからね。



取材してみた team: チーム50周年 school: 青森県立八戸西高等学校 左から 西垣秀飛・堤内彩空・山形彩羽



西垣:一つの企業にこんなに多くの業種があることに驚きました。お客様のことを一番考えて時代の変化に対応しており、勢いのある会社だと思います。それぞれの仕事にプライドを持って働く姿に感動しました。社員さんの個性を尊重している会社です。

山形: 仕事に笑い声が聞こえたり、仕事仲間とポウリングイベントを行ったりとアットホームな雰囲気でした。趣味から始まった自分の専門的な分野を生かしながら、仲間と楽しい雰囲気の中で仕事ができたら、より一層仕事に力が入るのでいいなと思いました。

堤内:実際にデザインして作っている最中の家を見させていただきました。自分が担当してデザインしたものが建物として残るのは達成感が大きそうだなと思います。普段見ることができないところも見られて、楽しく知識を得られたのでうれしかったです。



Q.八戸の良さは？

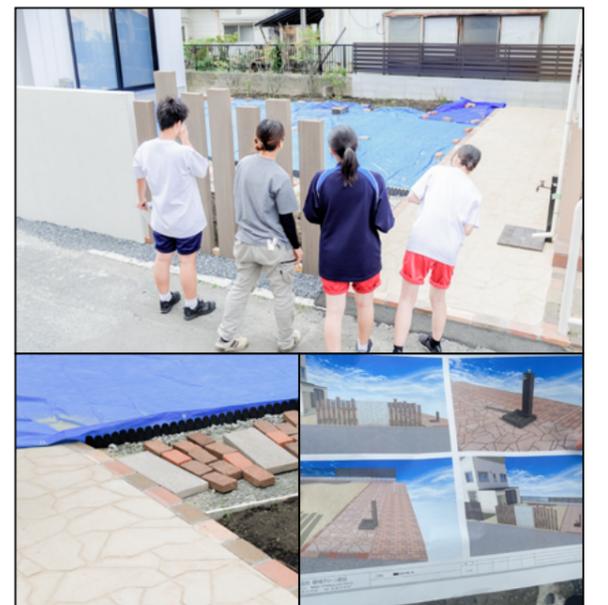
A.清水さん 自然と街のバランスが良いところですね。自然豊かですが、新幹線や船などの交通の便も良いところが他とは違った良さだと思います。上京した子どもが親の心配をして実家の植物の手入れの依頼をしてもらうことがよくあります。そのような依頼は地方の八戸ならではのものだと思いますね。

八戸の魅力

Q.八戸が幅広い世代の人に

刺さるのはどんなポイントだと思う？

A.清水さん やっぱり食べ物がおいしいことですかね。海の幸やラーメン、ケーキなど子どもからお年寄りまでおいしいと思える食べ物が多いと思います。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

道路の整備から公園の遊具作りまで「建設」という名前からは想像できないような範囲まで仕事をしていました。一人一人に特技があり、自分の長所を生かした仕事をしているまるでヒーローが1箇所に集まったような会社でした！



建築物や道路、鉄道をつくり 人々が暮らすまちを描いていく

小幡建設工業株式会社

1950年創業。66年に本店を八戸市小中野から同市城下へ移転。建築工事と土木工事を手掛け、公共建築、商業建築、道路や鉄道、文化財修復などにおいて、設計、管理、施工まで、質の高い技術と安全衛生の提供に努めています。2001年に住宅部門「オバタホーム」を設立。経営理念の「誠実に、安心をつくる」のもと、住宅、店舗づくりの実績を積み重ね、安心して暮らせる「信じられる家」を提供しています。

取材した人 赤坂駿介さん 入社1年目



八戸市出身。八戸工業大学卒業。所属部署は建築住宅部建築住宅サービス課。担当業務は、現場監督。ご家族も建設業に携わっています。趣味は釣りに行くこと。早朝が一番よく釣れる時間帯のようです。

company profile :



業種 建設業
設立 1950(昭和25)年
住所 八戸市城下4丁目22-33



Q.職場の働きやすさは？

A.赤坂さん 働いてみて、職場の皆さんの笑顔が絶えず、明るい雰囲気の中で声をかけてもらえます。
A.小幡さん(社長) 社内で新入社員研修をはじめ各段階ごとの研修や、資格取得のための研修があります。資格取得のための費用は会社が全額負担しています。福利厚生面では1時間ごとに有休を取ることが可能で、フレキシブルな働き方ができます。今後も社員の要望を聞きながら、働きやすい環境を整えていきたいです。

企業の魅力

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる？

A.赤坂さん 私は現場監督をしています。現場監督は、職人が安心して作業できるように安全管理を徹底しなければならないとても責任のある仕事です。大変なことも多々ありますが、それらを乗り越えていき、何もないところから一つの建物に携わり、その建物を完成させた時には達成感があります。他には、別の業者の方々に関わることが多いので、会話を通してつながりを感じられることが面白いです。

Q.どんな人材を求めている？

A.小幡さん(社長) 当社はお客さまや現場での人間関係を大切にしているので、コミュニケーション能力が高い人材を求めています。他には、建設業は専門的な知識と技術が必要なので、物事に根気強く挑む人を求めています。プライドを持ちながら仕事に取り組んだり、相手の話を素直に聞き入れて自身の技術を向上できたりするといいですね。責任感が強い人や、リーダーシップを発揮できる人も活躍できます。

取材してみた team: チーム地域 school: 八戸工業大学第一高等学校 左から 上村佳史・村本竜也・工藤終人・菊池厘友



上村: 安全で安心な建築物をつくることだけでなく、人と人とのつながりを大切にするということにより、さらにお客さまの信頼を得ることができるのだと思いました。お客さまに寄り添う姿勢は小幡建設の魅力だと思います。

村本: 一番にコミュニケーションを大事にしているということ、社員同士やお客さまとの関わりを大切にしていることが分かりました。また、一つ一つの現場、そして建物に懸ける熱意を感じました。

工藤: 実際に現場を見学した時、多くの人たちが一つの建物を全身全霊でつくり上げている様子がとても印象的であり、経営理念の「誠実」が伝わってきました。何事にも一生懸命に取り組む姿勢を私も見習いたいです。

菊池: パンフレットに掲載されているものだけでなく、多くの建築物をつくり上げていることが分かりました。人生100年時代の今、住宅にはこれから住む人たちへの強い思いが込められています。



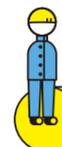
八戸の魅力

Q.八戸に会社があるメリットは？

A.小幡さん(社長) 八戸だからこそ会社が存続しています。八戸には工場がたくさんあり、当社の創業当初の仕事は工場関連の工事でした。その後も工場関連の仕事も多く手掛けているので、恩恵は大きいです。さらに鉄道も通っているので、JR八戸線関係の工事の実績もあります。八戸は青森県内でも人口が多いので、一般住宅の受注にもつながっています。

Q.八戸が住みやすいポイント？

A.赤坂さん 大学時代は早朝から釣りに行っていました。八戸は自然が豊かなので、その中でのおんびりと過ごし、リフレッシュすることができます。まだ入社して間もないので、もう少し仕事に慣れたら釣りを再開したいです。また、車があれば移動しやすい点も住みやすいポイントだと思います。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

お客さまの思い描くものを形にするためには、相手の気持ちを理解することが大切だと分かりました。私たちが暮らすまちも、誰かの理想と、それを形にする人たちの手によってできています。人と人をつなぐ素晴らしい企業だと思います。



身近な物の製造に貢献する技術 現地で施工する出張工事でも活躍

マルイ鍍金工業株式会社 東北工場

国内には、兵庫県に2工場、千葉県に1工場、青森県に1工場の計4工場があり、海外には韓国と中国に各1工場ずつあります。日本だけでなく世界的にも進出している企業です。経営理念は「常に進み続ける」。主に、電解研磨処理や無電解ニッケル鍍金処理などを行っています。そして、現地へ出向き、独自の表面処理技術で作業を行う出張工事が特徴として挙げられます。海外での施工も可能で、さまざまな実績があります。

取材した人 大村利光さん 入社8年目



岩手県出身。所属部署は製造部です。担当業務は電解研磨で、科学の力を目の当たりにできる仕事に面白さを感じています。

company profile :



業種 製造、販売業
設立 1967(昭和42)年
住所 八戸市河原木遠山新田5-2



Q.入社のきっかけは？

A.ハローワークを通じて、前職と同じ研磨系の会社である当社に転職することができました。入社してからは、当社が「研磨」という一つの分野だけでなく、熔融亜鉛めっき、無電解ニッケルめっきなど、いろいろな分野に精通していることに驚きました。また、表面処理を通して、食品、薬、車など身近なものの製造を支えていることを知り、誇りに思いました。新型コロナワクチンの国内製造にも当社の技術は大きく貢献しています。

企業の魅力

Q.職場の働きやすさは？

A.社員に年代の差があまりなく、コミュニケーションを取りやすいので、職場は明るい雰囲気です。福利厚生面では育児休暇取得の実績があり、有休の消化率が高いことなども働きやすさにつながっています。このほか、必要な資格を取らせてもらえることもやる気を後押ししてくれます。東北工場に現在勤務している社員のうち、最も長く働いている社員の勤続年数は19年です。

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる？

A.当社はさまざまな分野に精通しています。そのため、いろいろな種類の製品が入荷され、新しい製品を扱うことも多々あります。そんな時はみんなで試行錯誤し、最も適切な表面処理の方法を模索。無事に製品を出荷できた時には、達成感を感じます。また、一人でできなかった作業を、流れを理解してやりきれるようになった時に、成長を実感でき仕事に対してやりがいを感じます。周りに相談することで、困難を乗り越えています。



取材してみた team: チーム地域 school: 八戸工業大学第一高等学校 左から 工藤終人・村本竜也・菊池厘友・上村佳史



工藤: パソコンやスマホなど私たちの日常生活に必須な物の製造装置にも表面処理が施されていることに驚きました。また、出張工事で日本全国だけでなく海外でも活躍されているので、今後知名度を上げてほしいです。

村本: マルイ鍍金は日本の3市に工場を置き、全国で出張工事を行っています。また、中国や韓国にも拠点があり、世界規模で活躍していることが分かりました。表面処理が関係している物を普段の生活でも探してみます。

菊池: 陽極酸化処理を見学させてもらいました。流す電流の強さによりチタンの色がきれいになることに驚きました。同社の目標は世界に拠点を広げていくことだと教えてもらったので、今後の活躍が楽しみです。

上村: 同社の技術はいろいろな物に使われていることが分かりました。携帯電話などの製造を見えないところで支えています。お話を聞かなければ分かったことがたくさんあり、とても楽しかったです。



Q.八戸に会社があるメリットは？

A.八戸には港湾があり、船で原料や製品の輸送がしやすいので、大きな工場がたくさん立っています。その工場から仕事を受注できるというのが一番のメリットです。このほか、八戸は海のまち。船のチェーンはめっきでできているので、チェーンの表面処理を通して地域に貢献できるのも八戸に会社があるからこそだと思います。

八戸の魅力

Q.八戸の好きなところは？

A.海産物が安く、とてもおいしいです。そして、新幹線が通っているため都市部へのアクセスがやすく、出張に便利です。近くには三沢空港もあるので、陸路でも空路でも都市部へアクセスできる点もいいですね。ほかには、冬の降雪量が北国にしては少なく、渋滞が発生しにくいので出勤がしやすいです。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

国内に複数の工場を置くことで、全国へのお出張修理を可能としていることが素晴らしいと思いました。世界で活躍されていることも分かりました。実際にめっきの実験を体験し、そのすごさを身をもって知ることができました。



確かな技術で物流を支える 世界トップクラスの整備士が在籍

UDトラック株式会社 八戸カスタマーセンター

自動車の整備、点検、販売、開発を手掛けています。八戸カスタマーセンターは八戸市内、三戸郡、おいらせ町を担当しています。本社工場でお客さまのニーズに応じて作られたトラックを長く安全に使っていただけるように、最新の知識と技術を身に付けたプロフェッショナルなメカニックが点検・整備を行っています。UDトラックの従業員は全国で約6000人、八戸カスタマーセンターでは33人が働いています。

取材した人

左から 三浦剛さん 入社26年目 ・ 高橋一也さん 入社22年目



三浦さんは八戸市出身。八戸カスタマーセンターのセンター長を務め、全体を統括しています。高橋さんも八戸市出身。現在はサービス・アドバイザーとして、お客さまの車両を最適な状態に維持するアフターフォローなどを担っています。

company profile :



業種 自動車整備業
設立 1973年(昭和48)年
住所 青森県八戸市北インター工業団地5-2-37



Q.入社きっかけは？

A.三浦さん 元々、電気や機械が好きで地元で働ける仕事を探していた時に今の整備工場が北インター工業団地に建てられていて気になり、入社したいと思いました。
高橋さん 車関係に興味があり、自動車整備士になるための勉強ができる八戸工科学院に入学しました。UDトラックは職場の雰囲気が良く、自分の雰囲気に合っていて働きやすいと思ったので入社を決めました。この仕事は繊細な作業も多いのですが、入社当時は扱っている部品の大きさに驚きました。

Q.どんな時に達成感を感じる？

A.三浦さん エンジン修理などを担当し始めた頃に、東京に遊びに行ったことがあります。自分たちが関わった車が東京の首都高を走っているのを見かけた時は感動しました。

Q.地元定住の取り組みは？

A.三浦さん 若者の認知度が高まるように、Tik Tokやインスタグラムなどのアカウントを開設し、UDトラックでの仕事の様子を見て楽しめるような動画を投稿しています。八戸カスタマーセンターには優秀な従業員が在籍していて、世界中のUDトラックのディーラーが技術やチームワークを競う社内コンテスト「UD現場チャレンジ」で優勝した経験もあります。そういったことも知ってもらえればと思います。



取材してみた team: まっく。 school: 青森県立八戸水産高等学校 左から 川野萌花・川野綾花・砂川倅



川野萌花:取材をして、とても楽しそうでやりがいのある仕事だと思いました。トラックには人感センサーなどの設備が付いていて運転しやすそうだなと思いました。普段見かけるだけであまり知らなかったトラックのことを知ることができて良かったです。

川野綾花:エンジンの構造が難しそうでしたが、やりがいのある仕事だと思いました。社内の雰囲気も良く、自分らしく楽しく働けそうだなと感じました。トラックには長時間乗っても苦痛にならない工夫がたくさんあり、安心安全な車だと改めて知ることができました

砂川:作業している方々がみんな笑顔で、UDトラックで働くことをとても楽しんでるように見え、うらやましいと感じました。また、トラックに乗ってハンドルを動かすなど、初めての体験や知らないことがたくさんあり、とても良い経験になりました。

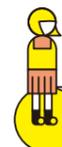
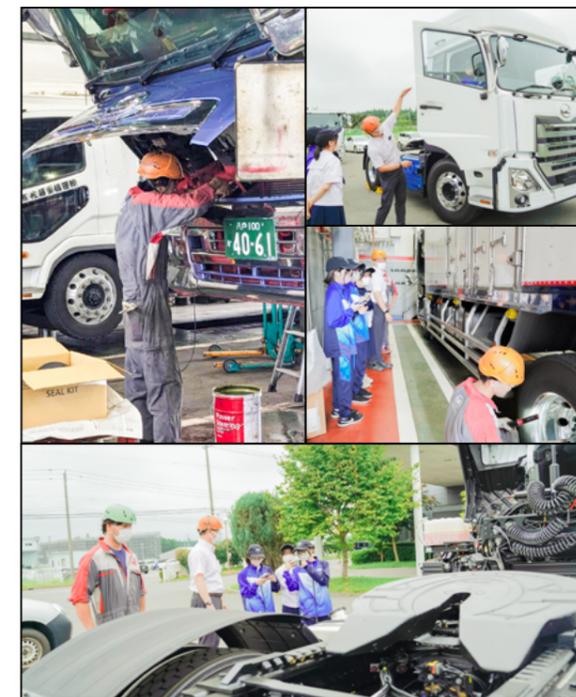


Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.三浦さん 八戸は都会過ぎず自然もたくさんあってフェリーや新幹線にも乗れ、交通の便がとても良いことが住みやすいポイントだと思います。都会と比較して渋滞があまり多くないのでそこも良いです。

Q.市外、県外の人にPRしたいことは？

A.高橋さん 種差海岸と館鼻岸壁朝市ですかね。種差海岸は自然が多くて海がきれい。朝市は県外や他国から来る観光客も多くて知名度が高く、たくさんの人に親しまれている場所だと思います。他にも八戸市にはいいところがたくさんあるのでぜひ来てみてほしいなと思っています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

トラックの仕事は重いものを持ち運んだりして力仕事が多いイメージだったけれど、意外と繊細な作業も多い!



八戸の海と共に歩む老舗企業 「八戸たけわ食堂」は人気拡大中

武輪水産株式会社

八戸港に水揚げされる新鮮な魚を中心とした海産物の加工、販売を手掛け、八戸市内に三つの工場を構えています。従業員数は139人。商品の鮮度や味へのこだわりだけでなく、安全・安心に配慮し、2000年には冷凍締めさばの対米HACCP(ハサップ)を取得しました。2022年にスタートした港町・八戸に「あったらいいな」と思う老舗食堂のメニューをイメージした煮魚シリーズ「八戸たけわ食堂」は、ネット販売を中心に人気を集めています。

取材した人 藤田純史さん 入社14年目



八戸市出身。高校卒業後は都内へ進学し、小売業の企業に勤務。いつかは地元へ帰りたいと思っており14年前に武輪水産へ転職した。現在は企画開発室に所属し、新商品を作る際の市場調査から企画、開発を手掛ける。

company profile :



業種 水産食品製造業
設立 1948(昭和23)年
住所 青森県八戸市鮫町下手代森32-1



Q.入社のきっかけは？

A.以前は県外にある、全く違う業態の会社に勤めていました。いつかは地元に戻りたいと思っており、30歳を過ぎた頃に一念発起して転職することに。ちょうど、武輪水産の開発プロジェクトの募集が出ていて興味を持ったので応募しました。実は、入社前は締めさばが苦手でした。でも、武輪水産の締めさばは生臭さがなくて食べやすく、「こんなにいいんだ」と思い、食べられるようになりました。

企業の魅力

Q.どんな時に達成感を感じる？

A.私の仕事は新しい商品を作るために市場を調査して、求められているものや面白いものを調べ、企画・開発することです。開発の苦勞もありますが、商品を無事にリリースできた時や、店舗で偶然お客さんが商品を手取る姿を目にした時は、安心感や喜びがこみ上げてきます。

Q.職場の雰囲気は？

A.従業員同士が互いに助け合えるので、有給休暇が取りやすく、子育て中の人でも働きやすい環境です。また、可能性がある限りは新しいことに挑戦してみようという前向きな社風だと感じています。さまざまな人がいますが、私自身は八戸を離れていたからこそ見えた八戸の良さや足りない部分を武輪水産の仕事に生かしたいと思いながら働いています。

取材してみた team: まっく。 school: 青森県立八戸水産高等学校 左から 川野萌花・砂川倅・川野綾花



川野萌花:工場を見学してみて、ベトナムの方が6人も働いていると聞いて驚きました。武輪水産オリジナルの機械があり興味深かったです。そして、藤田さんたちの人柄も良く、私たちが緊張している中、優しく話を聞いてくれたことがうれしかったです。

砂川:サバなどの商品を作るには沢山の手間がかかっていると改めて思いました。お話を聞いて互いを尊重し合えるとても楽しそうな会社だと思いました。たけわ食堂など、お客さんが楽しめるような企画もあり、私も実際に食べてみたいと思いました。

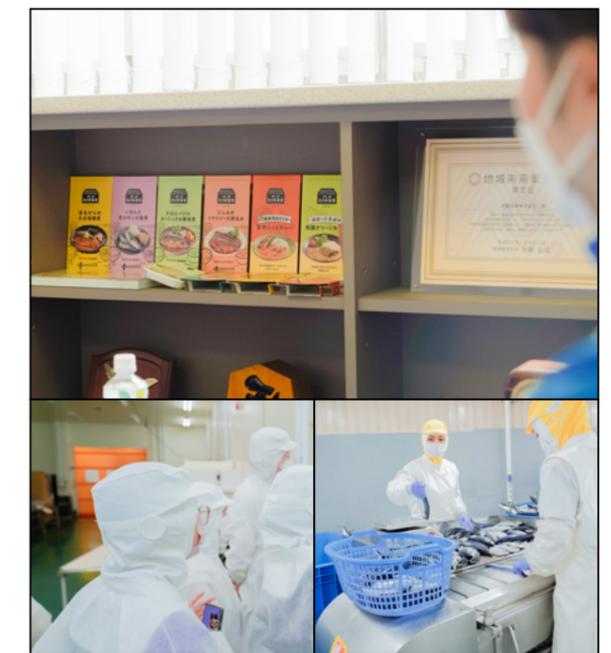
川野綾花:多くの研究を重ねた上で商品が発売されていると知りました。また、社内交流や互いを尊重し合える雰囲気も良かったです。水産高校にもサバを使って料理を開発する授業があり、武輪水産のように唯一無二の商品を開発できたらと思いました。

Q.八戸が住みやすいと思うポイントは？

A.都会に比べると子育てがしやすいところです。都会だと保育園の定員が埋まっていて、子どもを預けにくいなどの問題があるので、その点に関しては住みやすいと思います。もちろん他都市に負けているところも多々ありますが、不便さを感じることはないです。

Q.市外、県外の人にPRしたいことは？

A.八戸は魅力がたくさんあるまちだと思います。でも、一番はやっぱり食べ物がおいしいことをPRしたいです。八戸の前沖サバは全国に誇れます。また、種差海岸や館鼻岸壁など、自然が豊かで海もきれいで、県外の友人に好評です。私たちはこれからも地元の水産物に付加価値を付け、全国へもっと発信していきたいです。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

八戸たけわ食堂の一番人気はサバの味噌煮。個人的にはニシンのトマトソース煮込みがオススメです。



看板商品はどら焼き 八戸から世界へ輸出

しみず食品株式会社

元は餅屋から始まった会社。どら焼き、あんドーナツ、アップルパイ、バウムクーヘンなどを青森県内だけではなく、全国で販売しています。どら焼きに定評があり、海外ではアメリカ、カナダなどの北米に卸しています。従業員数は24人で、そのうち工場勤務が12人。ストレスフリーに働ける職場環境作りを心掛けているそうです。

取材した人 田中寿一さん 入社8年目



田中さんは東京からUターンし、東日本大震災の後、父親が経営していたしみず食品に入社しました。現在は専務取締役を務めています。

company profile :



業種 菓子製造業
設立 1954(昭和29)年
住所 八戸市北インター工業団地
5丁目5-3



Q.入社のきっかけは？

A.もともと、料理をやることに対して興味がありました。東京に住んでいた頃、飲食店で働いていた経験もありますし、調理の専門学校にも通いました。しみず食品は2011年の東日本大震災で工場を失いました。その後親から食事に誘われ、いろいろと話をしていたら会社の業務のことを話してとても楽しく仕事をしているんだと感じました。

企業の魅力

Q.企業のいいところ、誇りに思うところ

A.レシピの試行錯誤を重ねた結果、おいしいもの(商品)が作り出されるところがいいと思う。

取材してみた team: TMKD school: 青森県立八戸水産高等学校 左から 田村心優・木村花蓮・出貝紅葉



田村: もともとは、お餅屋さんとして始まったことに驚きました。国外への輸出にも力を入れていること、関東にも卸しています。国内のお菓子業者やお菓子の進化、発展にもつながってほしいと思います。

木村: オリジナルのお菓子を自ら提案し、作り、販売しているところがすごいなと思いました。また、日本だけでなく、海外にもお菓子を販売していて、幅広く親しまれていることがわかりました。実際に工場見学をして、お菓子ができる工程を見て興味が湧きました。

出貝: 取材に行く前は、どら焼きが有名な会社だということしか知らなかったけど、取材に行ってみて思ったことは上下関係があまりなく自分の意見が出しやすくてとてもフラットに話しているなと思い、居心地の良い会社だなと思いました。

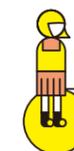
Q.八戸のPRしたいところは

A.八食センターは観光にもなるし、おいしいものがたくさんあります。種差海岸もいいと思います。

八戸の魅力

Q.会社はどのようにして地域にかかわっているのか

A.八食センターの中で「創季屋」と「432」というお店を運営しています。特に「432」は、味はもちろんなパッケージにもこだわり、これまで八戸になかったおしゃれなお土産を販売しています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

通常、問屋を通してスーパーなどから依頼されることが多かったけれど、最近は、問屋を通さず直接スーパーからの商品開発依頼が多くなっていることがすごかったです。



生産者と消費者の架け橋となり 地域の“食”を支える

八戸中央青果株式会社

企業理念は、「生産者と消費者の架け橋」。豊かで安心・安全な食生活、食文化への貢献を社会的責任と自覚し、推進するという意味を込めて「架け橋」を使っています。他にも「情熱市場」というキャッチフレーズには、「価格ではなく、仕事に対する社員の情熱で評価してもらおう」という横町芳隆会長のメッセージが込められ、社員が一丸となって地域の食文化を支えています。

取材した人 左から 佐藤正隆さん 入社12年目 ・ 大和山勇太さん 入社10年目



佐藤さんと大和山さんは八戸市出身。佐藤さんの所属部署は野菜部でトマト・ピーマンを担当しています。大和山さんの所属部署は特産部でニンニクを担当しています。お二人とも、自分の担当を誇りに思いながら仕事をしているそうです。

company profile :



業種 卸売・小売業
設立 1977(昭和52)年
住所 八戸市河原木神才7-4



Q.入社のきっかけは？

A.大和山さん 就活している時に企業見学をして、職場の雰囲気引かれて入社しました。また、自分はスポーツをやっていたので合っているのではないかとも思いました。

企業の魅力

Q.職場の雰囲気は？

A.佐藤さん 入社したばかりの頃に配属されたのは、女性が多い営業開発課。1~2週間くらいなじまず、「この会社に自分は向いていないのではないか」と思っていました。でも、仕事では新しい環境に溶け込むのが当たり前。徐々にコミュニケーションを取るようになり、仲良くなりました。

Q.企業の良いところ、誇りに思うことは？

A.佐藤さん 東北1位を取れる会社の規模であったり、日々の生活に大きく関わっていたりすることです。あとは、責任を感じながら働いていることを誇りに思っています。



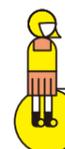
Q.八戸の好きなところは？

A.佐藤さん 燕嶋神社が好きです。神社が海を見渡す山にあるのがとてもロケーションがよいと思いますし、全国探してもこういった神社がないと思うからです。

八戸の魅力

Q.市外、県外の人にPRしたい場所は？

A.大和山さん 天然芝生の種差海岸から見る景色はとて素晴らしいです。開放感がありますし、風も涼しい。白浜海岸で泳げるのもいいですね。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

朝の6時半から、全員でラジオ体操を習慣として行っていること。あと、競りの値段交渉で使用する指の使い方の種類がさまざまあることに驚きました。

取材してみた team: TMKD school: 青森県立八戸水産高等学校 左から 木村花蓮・田村心優・出貝紅葉



木村: 私たちの食卓に新鮮で安全な生産物を届けるために仕事をしていることが分かりました。競りをしている様子や、普段どのような仕事をしているのかを知りました。とてもやりがいのある仕事だと思いました。

田村: 社名が時代の変遷によって変更されたことや、東北の主要市場に指定されていることを知り、驚きました。インタビューさせていただいた方々や会長さんなど、働いている方々の雰囲気がとてもよく、良い職場環境ということが分かりました。

出貝: 卸売りをしている会社、という表面上のことしか知りませんでしたが、取材を通して人との関わりや、何を大切にしている仕事をしているのか分かったし、自分も見習いたいと思いました。



八戸を“学びのまち”に！ 社会課題に取り組むクロステック企業

株式会社トイ

システム開発からデジタル関連製品の企画・製作、コンサルティング、ブランディング、コンテンツ企画まで、ワンストップで提供する独立系のSier(システム開発の全工程を請け負う受託開発企業)として企業活動そのものを変革させていく取り組みをサポートしています。技術を使って企業の利益を上げると同時に、環境問題や福祉の向上など、社会のさまざまな問題を解決し、経済的な利益と社会的貢献を両立させるソーシャル企業でもあります。

取材した人

戸田智雄さん 設立 37 年目 ・ 笹山佳世さん(写真) 入社 10 年目



戸田さんは南部町出身で、27歳のときに東京都目黒区で現在の株式会社トイを設立しました。笹山さんは八戸市出身で、2014年に弘前大学を卒業後、新卒で株式会社トイに入社し、岡山で勤務。2021年には東北本社の支配人として着任しました。現在は経営企画部で、中長期計画の立案、事業戦略の策定、業務改善の推進などを担当しています。

company profile :



業種 情報通信・情報サービス業、ソフトウェア業
設立 1987年(昭和62)年
住所 八戸市長苗代字上碓田46-7(東北本社)



八戸の魅力

Q.八戸にある企業として、またはそこで働く人としての目標は？

A.笹山さん 八戸を“学びのまち”にします。現在、学生を対象に愛瀬詩塾(えみしじゅく)を開講し、「学んで給料をもらう」Learn and earn プロジェクトを実施しています。八戸の人は「愚直に働く」と評価されがちですが、それだけでは労働力としての価値にとどまります。八戸からリーダーを輩出することを目標に、東京大学メタバース工学部の法人会員として社員や学生に講座受講の機会も提供し、「学びへの投資社会」を目指しています。

Q.八戸に会社があるメリットは？

A.戸田さん トイは開発型のIT企業であるため、八戸に会社を構えるメリットは少ないと言えます。それでも八戸を選んだ理由は、子どもたちが持つ「自分で今の自分を乗り越えようとする力」に可能性を感じているからです。脳科学の発展により、成長の鍵は大人の指示ではなく、自ら課題に挑む意志にあるとわかっています。また、将来の職業の65%は現在存在していないと言われる中、八戸からリーダーを輩出するためには、子どもの意志を尊重し、大人がその成長を支えることが必要だと考えています。



Q.入社のかっけは？

A.笹山さん トイとの出会いは大学3年生の時。東日本大震災の復興支援活動で、世界的な照明デザイナー・面出薫氏や、当時パナソニックデザイン社の社長だった植松豊行氏を招き、まち歩きを企画・運営しました。活動を通じて、トイの発想力と鋭い洞察力、素早い行動力を目の当たりにし、自分もここで働きたいという強い思いが芽生えました。両親は大手企業や公務員を勧めていましたが、心はずでにこの会社とともに未来を創る方向に向かっていました。

企業の魅力

Q.企業の良いところは？

A.笹山さん トイは上位役職者が社員を下から支え、個性を引き出し働きやすい環境を整える「サーバントリーダー型」の組織です。社員には立命館アジア太平洋大学の副学長やコロンビア大学法学博士、世界的な尺八奏者など多彩な人材がそろっています。また、トイは社会起業家の育成を目指し、転職した社員(アルムナイ)ともネットワークを築いています。アルムナイには、大手設計事務所の研究者や大手IT企業の女性取締役として活躍する人もおり、トイでの経験がその成長の基盤となっています。人材が育ち飛躍できる環境こそが、トイの最大の魅力です。

Q.どんなときに達成感や面白さを感じる？

A.笹山さん 企業の採用プロモーションアニメを制作しました。キャラクターデザイン、脚本、作画、動画制作をすべて自分で手掛け、プロの声優さんにアフレコを依頼しました。このアニメはお客さまにとっても気に入られ、アニメ好きな私にとって夢のようなプロジェクトでした。トイでは、システム以外の分野でも社内プレゼンでOKが出れば挑戦できます。自分のアイデアが形になり、それが認められる喜びと達成感は何物にも代えがたいものです。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

トイは地域と関わる活動の企画・運営が多いことを知りました。地域と共に活動することで地域の長所や短所を知ることができ、さらにステップアップすることができます。これにより、より良い地域づくりができると思いました。

取材してみた team: Four Pears school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校 左から 浪岡葉純・佐々木美波・三戸瞳・坂口美結



浪岡: 会社として稼ぐことと社会に貢献することを両立させていてすごいと思いました。急速に変化する社会の中で、八戸をより良くするには自分自身で考えて乗り越えることが大切だと気付かされました。

佐々木: 社員さんの意見を取り入れて新しい取り組みをしていると聞き、楽しそうだし人としての力が養われそうだと思います。企業だけでなく学生も関わることができる取り組みは興味深かったです。

三戸: 今までにない新しい企業で、社員さんの成長の機会が多くありました。取材時には青森県を他県と比べたデータで地域の問題点を知りました。しっかり向き合って取り組んでいてすごいと思いました。

坂口: 社員さんが挑戦したいことを実行できる会社だと思いました。また、事業戦略がしっかりしているから成功しているのだと感じました。新しい視点で物事を見ることができ良い機会になりました。



市民の空気環境を守る欠かせない存在 ものづくりへの熱い思いで各種機器を製造 アンデス電気株式会社

空気清浄機器から鉄道車両用の空気清浄装置やカメラ付LED照明機器、空気測定ツールなど空気関連機器、業務用除菌剤、自動車関連の製品などで使用する電子部品の実装から組立、製造までの管理などさまざまな業務を行っています。「衆知経営を基に先端産業を通して社会に貢献し、夢と生きがいのある企業を目指す」を経営理念としています。現在、330人の従業員が働いています。

取材した人

左から 三浦真理子さん 入社24年目 ・ 小笠原舞華さん 入社6年目



三浦さん、小笠原さんは共に八戸市出身。三浦さんは元々、高校で勉強した経営の知識を生かせると思い入社。現在は人事総務課で課長を務めています。小笠原さんは高校の時に受けたセミナーに興味を持ったのが入社のきっかけ。現在はテクニカル工場内で働いています。

company profile :



業種 製造業
設立 1971(昭和45)年
住所 八戸市桔梗野工業団地1丁目3-1



Q.この仕事を選んだ理由は？

A.三浦さん 元々、商業系の勉強をしていて、経営の仕事をしてみたいと思っていたところ、学んだことを生かせる企業の中からアンデス電気を見つけて入社したいと思いました。アンデス電気は、製品の設計から製造・販売まで一貫して行っています。入社した時はとても細かい精密部品まで製造していることに驚きました。空気清浄機をはじめとしたアンデス電気の製品はいろいろな場所で使われているので、もっと知ってもらえればと思います。

企業の魅力

Q.職場の雰囲気は？

A.三浦さん 事務の仕事をしているので全ての事業所と関わっていますが、部署や性別に関係なく平等で働きやすいところが良い点だと思います。従業員同士が協力することで打ち解けていき、良好な関係を築くことができていると思います。また、やる気がある人は研修に行くなど社外でも活動しています。
小笠原さん みんな優しくて活気があり、楽しい職場です。男女比で見ると、断然男性の方が多いのですが、その枠を超えて楽しく仕事できているのでアンデス電気に入社して良かったです。

Q.企業としてどんな人材を求め、地元定着を図っていききたいか？

A.三浦さん アンデス電気は過去を見直しつつ、新しい製品や事業を推進していきたいと思っていますので、いろいろな人に入社してほしいです。私自身、仕事を通して八戸のことを知った面が多々あります。今後も新しく来た人の考えで、次世代に向けてさまざまな取り組みをし、地域に貢献したいと思っています。

取材してみた team: Four Pears school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校 左から 浪岡葉純・坂口美結・佐々木美波・三戸瞳



浪岡: ものづくりは消費者と直接関わる仕事ではないけれど、その部品や製品が多くの人々を助けていると分かりました。見えない所で私たちのために働いている方がたくさんいることに気づけました。

坂口: アンデス電気さんの製造する部品を私たちが目にするのは少ないかもしれませんが、愛情や丹念が込められており、縁の下で力持ちだと思いました。ものづくりの魅力を伝えることができました。

佐々木: 取材を通して、周りの物がどこで作られているか確認したくなりました。機械系の仕事や勉強をしていなくても入社でき、誰でもwelcomです。誰しも会社です。社食がとてもおいしかったです！

三戸: 空気清浄機といっても、設置する場所によって形や性能を変化させていて工夫を感じました。取材を通して、自分が普段気にかけていないところにも目を向けていきたいと考えることができました。



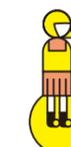
Q.八戸で他地域の方にPRしたいことは？

A.三浦さん 魚が新鮮なところや海があるところです。都会は人が多すぎて疲れてしまうので、八戸がちょうどいいのかもしれません。飲み屋さんが多いのもいいですね。人が優しくて温かいです。今考えると学生時代は八戸のことをあまり知らなかったのだと思います。社会人になって、新たに知る地元の魅力が増えていっています！

八戸の魅力

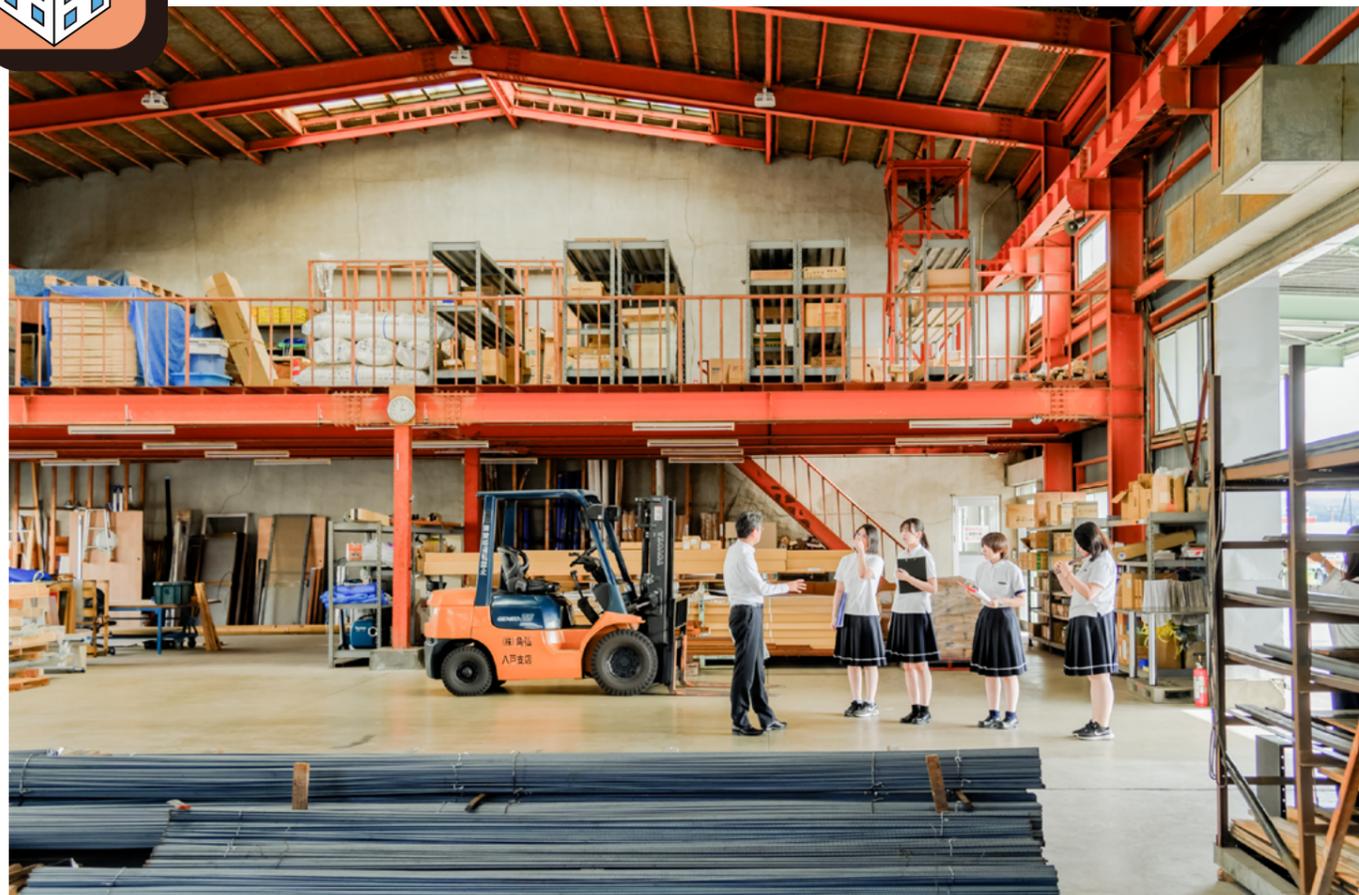
Q.地域との関わりは？

A.三浦さん 八戸に工場があるのは、先端技術を有するものづくりの場を東北につくりたい!という創業者の思いがあったからです。実はアンデス電気の製品はさまざまな場所で使われています。例えば歯医者さんやホテル、鉄道などで活躍しています。いつも裏方で、あまり目立つことがないのですが、確かに市民の皆さんの支えになっているので、とても誇りに思っています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

一つ一つの製品に心がこもっており、ものづくりへの妥協しない姿を見ることができました。空気清浄機などの開発を行う部署では自分たちが開発した物に改良を重ねています。そんな熱いものづくり精神は地域の力になると思いました。思いもよらぬところにアンデス電気の製品があるかも..



建設から暮らしまで 多様な分野で市民生活を支える

株式会社角弘 八戸支店

多角経営の「角」と創業地である弘前の「弘」が角弘の企業名の由来となっています。企業理念は「建設から暮らしまで」。弘前市のはるか夢球場などの公共施設や一般住宅のリフォームといった「建設」、サービスステーションや保険・カーリース事業といった「暮らし」のほか、プロテオグリカン事業など、さまざまな分野で企業と企業、企業と一般のお客さまをつなぎ、東北4県に広がる営業ネットワークで私たちの生活を支えています。

取材した人 左から 沼畑智美さん 入社2年目 ・ 新井山美穂さん 入社2年目



沼畑さんは南部町出身。営業部所属で建築資材チームの電話対応や請求書のチェックを担当しています。建築業界で女性らしい視点を生かすために入社しました。新井山さんも南部町出身。営業部所属で建築資材チームの補助をし、電話対応や請求書の確認をしています。

company profile :



業種 建設業、燃料各関連事業、保険・カーリース事業、プロテオグリカン事業
設立 1883(明治16)年
住所 八戸市卸センター2丁目9-28



八戸の魅力

Q.八戸に会社があるメリットは？

A.新井山さん 八戸は青森県内で比較的雪が少なく、冬でも会社へ通勤しやすいことです。他の支店では「会社に行くまでに疲れてしまった」「行きの電車で体調が悪くなってしまった」という声もあります。それに比べると、効率よく朝から働くことができます。

Q.八戸が住みやすいと思うポイントは？

A.沼畑さん 食べ物新鮮でおいしく、都会と比べて物価や家賃が安いので、家計的に大分楽だと思います。そして周りからの協力があるおかげで仕事と子育てをきちんと両立できます。会社と実家からそれほど距離がないため子どもの見守りを両親に託せて助かっています。



Q.職場は働きやすい？

A.沼畑さん 資格取得のサポートや新入社員研修制度、会社のイベントにも参加し交流できます。展示会で新しいものを見て学ぶことはとても勉強になります。

新井山さん 子どもの運動会や卒業式などの行事の際には、周りの人が助けてくれ、あまり気負わずに休暇を取れるので働きやすいです。さらに昨年は140周年記念の社内旅行があり、グループに分かれて行きたい場所を訪れることができました。それらのイベントも職場の人たちとの仲を深められるので魅力的です。

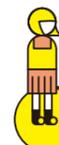
Q.入社前と入社後でギャップはあった？

A.沼畑さん 角弘は私が以前勤めていた会社のお取引先でした。その時に角弘の営業の方はエネルギッシュというイメージが強かったのですが、入社してみても、その通りでみんなやる気にあふれていたのがギャップはあまり感じませんでした。

新井山さん 角弘はプロテオグリカンのCMをしているためそのイメージが強かったけれど、実際は建築系の会社だと知って驚きました。建築用語の数が多いため初めは覚えるのが大変でした。

Q.企業としてどう地元定着を図っていききたい？

A.新井山さん 地域貢献として地元のスポーツチームとのオフィシャルパートナー契約や、企業版ふるさと納税など多くのことを行っています。これらを青森県全域に広めていきたいです。また、青森を拠点に東北4県に進出することができたため、「青森から世界へ」を目標としてこれからも尽力していきたいです。そのためには地元を愛し共に働いてくれる人材が必要だと思うので地元の魅力を発信し、知名度を上げていきたいと思っています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

社員さんが成長していくために支店同士で情報を交換して従業員全員で支え合い、良い方向に進められるようにしていると聞きました。そのような気持ちや行動がお客様の安心感と信頼につながり、多くの分野で活躍できるのだと感じました。

取材してみた team: 田中組 school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校 左から 城前百花・高橋ひまり・田中佑花・松田彩瑚



城前: 地域の「建設から暮らしまで」を支える角弘さんは最初、名前からは事業内容を予想できなかったけれど、実はCMでプロテオグリカンを放映しているなど、私たちに身近な企業で驚きました。

高橋: 会社にも個人にも対応できる品揃えや幅広い事業を展開していて素晴らしいと思いました。地元になんだ商品があるところから、地元のお客さんなど、私たちに身近な企業で大切にしているように感じました。

田中: 会社をつなぐ企業であるだけでなく地域スポーツの応援からプロテオグリカンを始めとする美容など、幅広い分野で生活に欠かせない会社で、私たちが含め多くの人を支える存在だと知りました。

松田: 会社と会社をつなぐ重要な架け橋となる角弘さんの取材では、改めて業界の構造を学びました。プロテオグリカンの供給も含め一言では言い表せない多岐に渡るサービスを知ることができました。



地域と深くつながるケーブルテレビ 八戸を愛する気持ちが番組制作の原動力

株式会社八戸テレビ放送

一般家庭へのケーブルによるテレビ放送、インターネット、固定電話、モバイルサービスの提供、加入営業やプランの契約が主な業務です。また回線を接続する際の工事や配線、メンテナンス、お年寄りの方やスマートフォンに詳しくない方へのスマートフォン操作のサポートもしているそうです。そして、八戸テレビ内のスタジオではローカルアーティストのMV撮影を行うこともあり幅広く活動しています。

取材した人 横町有希さん 入社4年目



八戸市出身。2021年に八戸テレビに入社。所属は総務部経理課。今年3月にCATV総合管理技術者というとても難しい資格を取得した。若い人、ご年配の人それぞれに寄り添う的確な対応ができ、知識も豊富なため問題解決の判断も早く周囲から信頼を置かれている。

company profile :



業種 情報通信業
開局 1986(昭和61)年
住所 八戸市城下3丁目4-10



Q.職場の働きやすさは？

A.資格取得に対して保証が手厚いです。所属している課に関係なく資格の試験を受けることができます。資格を取ることでよってできる仕事も増えていくため、受験費用等も会社が負担してくれるという全面バックアップがあります。また、八戸テレビの社員はテレビやインターネットの社員割があるため、自宅で有料チャンネルやアニメ専門のチャンネルを楽しむことができます。入社するとビジネスマナーの研修もありマナーもしっかり身に付けることができます。

企業の魅力

Q.この会社で働いていて誇りに思うことは？

A.八戸でケーブルテレビを提供している会社は八戸テレビしかないことです。スマートフォンの契約やケーブルテレビの契約、Wi-Fiが繋がらないなどのトラブルがお客さまに発生した場合、電話での問い合わせや八戸テレビに来社して質問する様子を見て、お客さまから頼られているのだと感じます。そして、そのような電話は課関係なく社員全員で対応します。社員全員が対応できるのもいいところだと思います。

Q.企業としてどう地元定着を図っていききたい？

A.八戸が好きの人、八戸の魅力を知っている人、思いが強い人と共に働きたいと思っています。さらに、若い人の力で発信していきたいとも考えています。現在、八戸テレビは若い社員が少ないため後輩ができれば一緒に成長していきたいです。八戸以外の人も大歓迎です。他の地域から来た方々に新しく八戸の魅力を発見してもらえたり、八戸以外の方々と仕事したりするのは刺激にもなります。以前は東京出身の方もいました。八戸に強い思い入れがある方々を求めています。



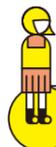
Q.会社はどのような形で地域に関わっている？

八戸の魅力

A.ケーブルテレビの放送や契約だけでなく博物館や川縄文館などから後援依頼を引き受け、イベントへ八戸テレビの名前を貸すことがあります。名前を貸すことでイベントの信頼性が高まったり、八戸テレビという名前が広まったりします。また、テレビ伝言板で八戸市のお知らせを流すなど、私たちの生活と密着しています。

Q.八戸が住みやすいと思うポイントは？

A.程良く都会であるところです。交通の利便性が良い点も魅力だと思います。私は種差海岸や朝市、温泉が好きです。特に熊ノ沢温泉がオススメです。他にもさまざまな温泉を巡っています。これからも八戸で働き続けたいと思っています。地元を愛する気持ちが良い番組作りの元になると考えています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

八戸のことを知るうとする、広めようとする気持ちはもちろん、働いている方々の心の中には「八戸が大好き」という気持ちがあるから番組をつくることにもお客さまのサポートにも全力を注げるのだと思いました。



取材してみた team: 田中組 school: 八戸聖ウルスラ学院高等学校 左から 城前百花・高橋ひまり・田中佑花・松田彩瑚



城前: 八戸テレビさんは、テレビやケーブル、番組の放送などのサービスの他にもYouTubeで、八戸の行事を生配信しています。それらの放送を制作でき、豊富な経験を得られるところが魅力です。

高橋: テレビだけでなく八戸の活性化につながる仕事もたくさんしていて市民と深い関わりがあると知り、影響力があるテレビの会社が行うからこそ大きく八戸を動かせるものがあるのだと感じました。

田中: テレビ放送に関わるだけではなく、スマートフォンやケーブルテレビの操作などのトラブル解決もしていると聞き驚きました。私たちの生活の身近に八戸テレビさんがいるのだと知りました。

松田: 番組を制作する会社だと思っていましたが、実はテレビをつなぎ、人と人をつなぐという多様な業務形態を持つ会社だと知って意識が180度変わりました。これぞ取材する醍醐味だと感じました。



多様な運動器具をそろえ、 短命県返上の一助に

株式会社塚原（フィットネスクラブウイング八戸）

八戸地区を中心にトヨタ車を販売する自動車のディーラーや、フィットネスクラブウイングの経営をしています。ウイングでは「お客様の毎日と地域の未来を明るく豊かなものにする」の経営理念の下、子どもから高齢者まで、どんな利用者も楽しくかつ安全に運動できるようにサポートしています。

取材した人 林崎大輝さん 入社6年目



弘前市出身で、所属部署はフィットネスクラブウイング八戸。子どもから大人まで、幅広い年代の会員に、プールでの指導やスタジオでのグループレッスン、マシンを使ったトレーニング指導を担当しています。

company profile :



業種 スポーツ施設提供
設立 1984(昭和59)年
住所 八戸市江陽2丁目9-29



Q.職場の働きやすさは？

A.入社前よりも、さらにトレーニングの知識などが身に付くことです。お客さまにより良いサポートができるように日々勉強をしています。また、研修制度も充実しています。若い人から高齢者まで幅広い世代のお客さまがいて、皆さんとフレンドリーに話ができ、とても楽しいと感じています。

企業の魅力

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる？

A.お客さまの健康状態が良くなった時や、目標を達成した時です。お客さまの喜ぶ顔を見ると、やって良かったなと思います。お客さまから「できるようになったよ！」などと声を掛けてもらえると、とてもうれしいです。また、指導する側であっても、お客さまや先輩方から学ぶこともたくさんあり、人間として成長できます。

Q.八戸にある企業として、どんなことを目標にして行きたいですか？

A.青森県は短命県返上を目標としているので、その目標に向かって、ウイング全体で貢献したいと思っています。また、資格の取得や、お客さまに正しいトレーニング指導ができるようになるために日々勉強しています。

取材してみた team: Mrs.July sisters school: 青森県立八戸商業高等学校 左から 東野愛依・千葉瑠菜



東野：車から得られた利益を地域へ貢献するために、ダンススタジオやジムの経営に乗り出したことを初めて知りました。いろいろな年代の会員さんと触れ合いながら、短命県返上のために、会員一人一人をサポートしている様子を見て、企業と地域とのつながりを深く認識することができました。

千葉：相手の得意、不得意や、世代に合わせた指導をしていると聞き、一人一人に丁寧に関わっていることに感動しました。また、お客さまの相談からトレーニングメニューを考えることもあるそうです。指導をしている林崎さんがずっと笑顔で楽しそうなのが印象的でした。

Q.会社はどのような形で地域に関わっていますか？

A.株式会社塚原の事業の中心は自動車の販売ですが、なぜウイングも経営しているかというと、地域の皆さまに車を買っていただけて得た利益で恩返しをしたかったからです。たどり着いたのがスイミングスクールの開設でした。その後ジムやスタジオを作り、フィットネスクラブウイングに改称したという経緯があります。

Q.八戸が住みやすいと思うポイントは？

A.都会が得意ではない人にとってはちょうどいいところだと思います。津軽などに比べて圧倒的に雪の量が少ないのが楽です。

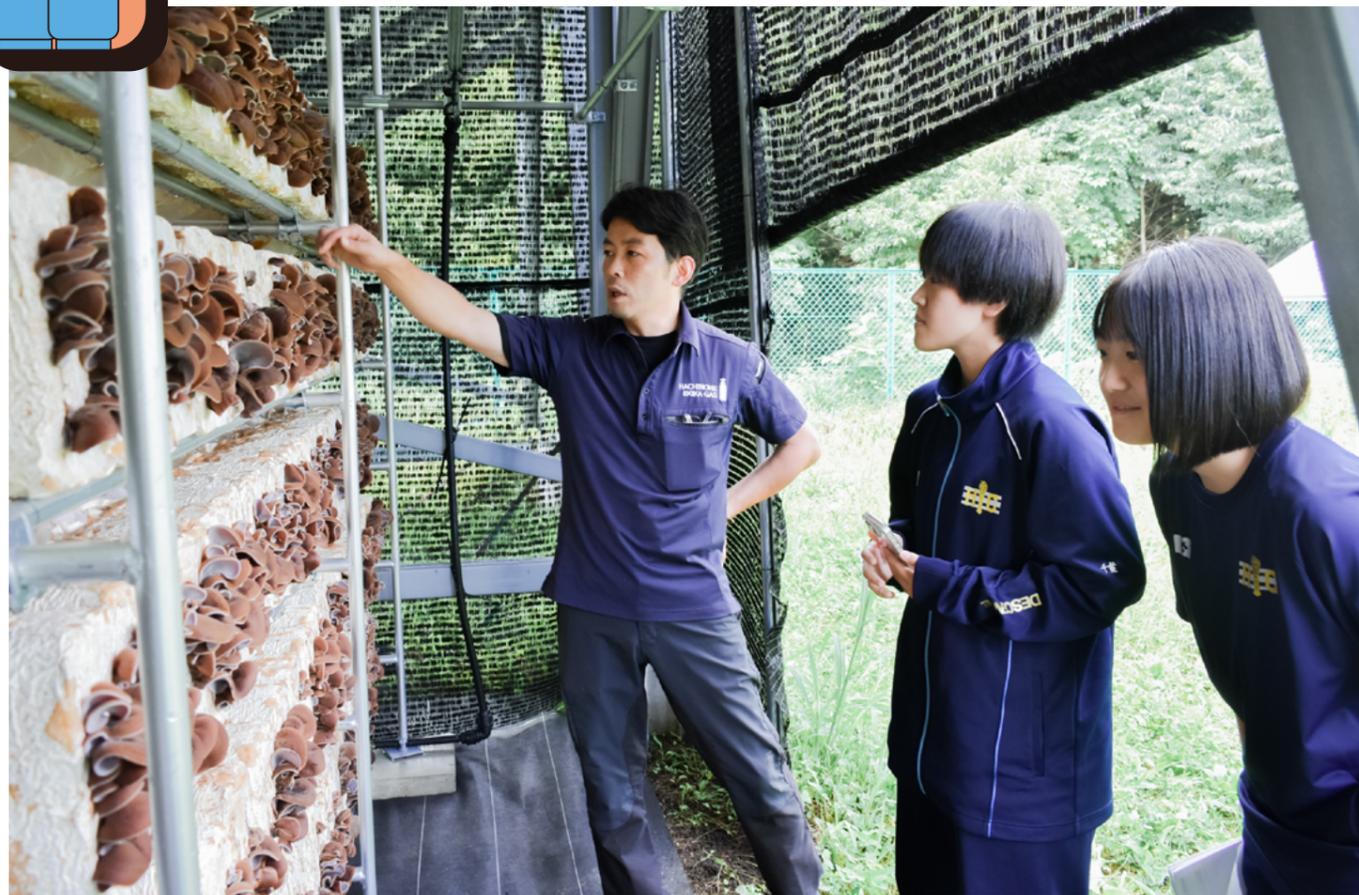
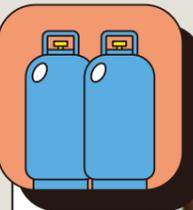
Q.八戸の好きなところ、PRしたいところは？

A.交通が便利なのでとても住みやすいです。また三社大祭のように大きなイベントがあることやおいしい飲食店をおすすめしたいです。初めて八戸のせんべい汁を食べた時は衝撃を受けました。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

試しにトレーニング指導を受けてみました。やった事が無いのですが、一から分かりやすく説明していただき、楽しくトレーニングできました。施設内には幅広い年代の方がいて、笑顔が絶えない、いい施設だと感じました。



エネルギーを供給し60年 時代に合わせ新しい事業も展開 八戸液化ガス株式会社

LPガス、石油など生活に欠かせないエネルギーをお客さまへ安心・安全に供給しています。創業してから60年の間で、エネルギー供給を軸に住宅設備や機器の販売、リフォームなどへと事業領域を拡大。「①地域のために貢献する②お客さまのために奉仕する③社会のために行動する④地球環境保護のために努力する」という経営理念の下、生活者ニーズの多様化に合わせ、地域のライフラインを支えてきました。従業員数は88人。

取材した人

左から 三浦友紀さん 入社26年目・石橋元平さん 入社15年目



三浦さんは八戸市出身。管理部総務経理課で、給与計算や社会保険手続きなどの業務を担当しています。石橋さんも八戸市出身。企画部事業推進課で、システム管理やコインランドリー事業、太陽光発電事業などを担当しています。

company profile :



業種 燃料販売、住宅設備機器販売、カルチャースクール経営
設立 1960(昭和35)年
住所 八戸市卸センター2丁目6-27



Q.入社のきっかけは？

A.三浦さん 母の友人が八戸液化ガスを知っていて「こういう会社があって試験をやっているよ」と声を掛けてもらったのが入社のきっかけです。

石橋さん 社員の方から紹介していただき、ご縁があり入社しました。休みが比較的取れて自分の時間が作りやすい点や、ガス以外の事業に積極的に取り組む姿勢が魅力だと感じました。

企業の魅力

Q.職場の働きやすさは？

A.三浦さん 働き方改革で休みが増え、プライベートも充実できます。また、上層部が古い考え方にこだわらず、今の時代に合ったことを考えながら取り入れてくれている点に働きやすさを感じます。

石橋さん 各家庭に設置されているメーターでガスをどのくらい使用したのかが信号で入るようになり、直接見に行く手間が省けるようになりました。新しい技術を取り入れることで、働きやすい環境がつけられていると思います。

Q.八戸にある企業として、どんなことを目標にして行きたいですか？

A.三浦さん 企業としては、八戸の人の生活が豊かで充実したものになるように、ガス事業以外の取り組みも積極的にすることを目標としています。個人としては、部下の人たちが少しでも働きがいのある職場づくりができればいいなと思っています。

石橋さん 今は、ガスを使っていただいているお客さまの生活が快適になるように考えてやっていますが、これからはわが社のガスを使っていない方にも「八戸液化ガスっていい仕事してるな」と思ってもらえるような取り組みをしていきたいです。個人としては、社員のみなが「ここで働いていて良かったな」という環境を率先してつくっていききたいです。



取材してみた team: Mrs.July sisters school: 青森県立八戸商業高等学校 左から 東野愛依・千葉瑠菜



東野: 燃料販売を通して地域のライフラインを安心安全に支えていると知り、八戸に必要不可欠な企業だと感じました。ガス事業というイメージでしたが、キクラゲの栽培や、カルチャースクール、コインランドリーの経営にまで事業を拡大したり、従業員の「やってみたい」を実現させたりしていることに驚きました。企業の様子を見て、八戸のライフラインや快適な生活にはたくさんの方が関わっているということを知ることができました。

千葉: 今回、液化ガスさんを訪ねてみて、八戸に住む人たちのために普段から多くの取り組みをしていることに感心しました。また、太陽光パネルを使用したキクラゲの栽培や、カブトムシの飼育など、一つの物をきっかけに、多様な物に展開していることに驚きました。その他にも働き方改革などを日々取り入れていて、八戸市民のことはもちろん、社員のことも大切にしている企業だと知りました。



八戸の魅力

Q.八戸に会社があるメリットは？

A.三浦さん 新幹線や高速道路が通っていて、物流の面でとても充実していると思います。会社の拠点が八戸にあることで、そこから派生して地域の方や企業と交流をすることができる点はとてもいいと思います。

石橋さん 八戸のお祭りやスポーツチームのスポンサーになるなど、地域に密着しているいろいろな活動しながらお客さまとやりとりできるのがメリットだと思います。

Q.八戸が住みやすいと思うポイントは？

A.三浦さん 交通が整っていてさまざまな場所に行きやすいところがいいと思います。そして特に海産物は魅力的だと思っていて、八戸にいと舌が肥えてしまうんじゃないかなと思います。

石橋さん 仙台、東京に住んでいたこともありますが、八戸の方が自分で車に乗って自由に動いていいと思います。

Q.八戸の好きなところ、市外や県外の人にPRしたいと思ういいところは？

A.三浦さん 海産物に限らず八戸の食べ物はとても魅力的だと思っています。海沿いを走るとすごく気持ちがいいです。

石橋さん 八戸三社大祭です。私は三社大祭に参加しているのですが、分解して地方に持っていけるような山車を作っているのが、市外や県外の人にも三社大祭の良さが伝わればいいなと思います。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

七戸営業所に設置したソーラーパネルの下を活用して何かできないかと考えた時に、社員の方からの提案で試験的にキクラゲの栽培を始めたそうです。取材時に実際に見せてもらったのですが、予想以上の数が栽培されていてとても驚きました。地域の方からの評判も良いそうです。



最先端の製品を支える素材メーカー 独自の技術を生かして世界で活躍

エプソンアトミックス株式会社

セイコーエプソン株式会社全額出資の子会社。従業員数386人。事業内容は、金属粉末、金属射出成形部品、人工水晶原石の開発、製造、販売。金属粉末は自動車や医療部品、スマートフォンなどに使われ、世界最先端の製品を支えています。2004年に独自の「S.W.A.P.®(スワップ)法」を確立し、アモルファス合金粉末の量産化に世界で初めて成功。世界で唯一の技術で、高品質な商品を安定的に供給しています。

取材した人 左から 広瀬可奈さん 入社2年目 ・ 水梨佳奈さん 入社7年目



2人も八戸市出身。広瀬さんは山形大卒。大学では地学を学んでいました。所属部署は商品開発部で、金属粉末の開発を担当しています。水梨さんは岩手大卒。事業管理部で人事を担当しています。目標は、同社が世界を舞台に活躍していることを多くの人に知ってもらうことです。

company profile :



業種 製造業
設立 1999(平成11)年
住所 八戸市河原木海岸4-44



Q.職場の働きやすさは?

A.水梨さん 福利厚生に力を入れています。主な施策としては、自販機から無料で飲料が提供されるDAKARA給水所の設置、フィットネスジムの法人契約などがあります。社員の健康に気を遣っており、健康イベントも開催しています。
A.広瀬さん 入社後すぐにエプソン本社で1週間の研修があり、他の社員の方々と広く交流しながら学ぶことができます。最近ジムに通っていませんが、無料で通えるので、少しずつ利用していきたいです。

Q.入社して驚いたことは?

A.広瀬さん 入社前は、若い社員が多いというイメージがありました。いざ現場を見てみるとイメージ通りでしたが、若手が先陣を切って行動をしているところに驚きました。また、話し合いでも積極的に発言しているということにびっくりしました。会社には頭が良く、個性あふれる方がたくさんいます。初めは慣れるか不安でしたが、その方々から熱心な指導を受け、今では伸びやかに仕事できています。

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる?

A.広瀬さん 私は商品開発部に所属しているので、お客さまからの商品の評価が良かった時に喜びや面白さを感じます。会社の商品が認められたことが純粋にうれしく、今後のモチベーションにもつながります。また、スケジュール通りに仕事が終わった時は達成感でいっぱいです。この会社で働いていると、世界最先端の製品を支える素材の生産に自分たちが密接に携わっていると感じ、とても誇りに思っています。

取材してみた team: オムライス school: 青森県立八戸北高等学校 左から 石井音緒・川上穂乃香・岩井原沙紀



石井: 金属粉末はさまざまな場面での活用が可能だという点に大変驚きました。意外にも身近な存在であることに気がきました。また、若者が中心となり、会議や組織全体をリードするスタイルや、今後の未来を担う若者の活躍を尊重する方針に感銘を受けました。

川上: 金属粉末から製品を作り出すということが可能なのか不思議に思っていました。逆に粉末であるからこそ、さまざまな物に使用できるということが分かりました。常に向上心を持ち続ける会社だからこそ、社員一人一人が生き生きと働けるのだと思います。

岩井: 商品を自ら開発・製造・販売ができるというお話を伺いました。個人の意見を尊重し、実践を後押しするという経営方針は、社員を成長させ、仕事への意欲も高めると思っています。とても素晴らしいですし、勉強になりました。

Q.会社はどのような形で地域に関わっている?

A.水梨さん スポーツチームのスポンサーという形で関わっています。例を挙げると、サッカーチームの「ヴァンラーレ八戸」、バスケットボールチームの「八戸DIME」「青森ワッツ」、アイスホッケーチームの「東北フリーブレイズ」などです。スポンサーチケットで無料で試合観戦ができるので、多くの社員が応援に行っています。

Q.八戸の好きなところは?

A.広瀬さん 交通、自然、人々の温かさ、文化、気候のちょうど良さなど、全てがそろっているところですね。八戸市は、私的に自然豊かな環境と都会の間にあるまちだと思っています。私は大学時代は山形に住んでいたのですが、今八戸市で暮らしているのは、ここに帰ってきたいと思える空気感があったからだと思います。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

世界中でここだけ!世界的な技術力 S.W.A.P.®法という現社長が確立した独自の技術で、世界に通用する事業を行っています。「変化を恐れずに、自ら挑戦する」という企業の姿勢が、社員一人一人が主体的に仕事を行えることにもつながっていました!



暮らしを支える発電所 熱エネルギーを無駄なく活用

東北電力株式会社 八戸火力発電所

東北電力初の火力発電所として1958年に運転を開始。現在稼働している5号機は、東日本大震災後の2012年7月、供給力確保のために運転を開始しました。その後、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせた二重の発電方式(コンバインドサイクル発電)を採用し、熱エネルギーを無駄なく活用しています。同発電所の社員は52人。東北電力グループの経営理念は「地域社会との共栄」、スローガンは「より、そう、ちから。」

取材した人

左から 佐々木晃大さん 入社14年目 ・ 島田賢一さん 入社28年目
笹森結衣さん 入社7年目



佐々木さんは八戸市下長出身。発電技術グループで、運転業務を担当しています。島田さんは八戸市鮫町出身。発電技術グループに所属し、発電設備のメンテナンスを行っています。笹森さんは青森市出身。運営企画グループに所属し、発電原価の管理などに携わっています。

company profile :



業種 電気(火力発電)
運転開始 1958年(昭和33年)
住所 八戸市河原木字兵工河原 1-1



Q.入社のきっかけは?

A.島田さん 親代わりのような存在がたくさんいるので、社会人になったら恩返しをしたいと思います。電気を使わない人はいないので、電気に携わる仕事をしようと考えました。
佐々木さん 地元が大好きなので、地元の近くで働きたいと考えていました。東北電力の勤務地は東北6県と新潟なので、条件に合うと思い入社を決めました。
笹森さん 中学3年生の頃に東日本大震災に遭い、長時間の停電を経験しました。その際に生活に欠かせない電気事業で地域の復興、発展を支えたいと思いました。

企業の魅力

Q.入社前との会社のイメージにギャップはあった?

A.島田さん 東北電力で行われている発電は、火力発電や原子力発電、水力発電などさまざまです。また、電気を専門にしている人も、化学を専門にしている人もいて、初めは組織全体の規模の大きさに驚きました。電気のことに関して専門的な要素が多い印象だったので、仕事の幅広さにも最初のイメージとのギャップを感じました。

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる?

A.笹森さん 前の勤務地は中堅層が少なく、私も含めて経験が浅い年代とベテラン層に分かれていました。その職場で大規模な工事を初めて担当し、ベテランの先輩方や協力会社、メーカーの方々にご指導いただきながら、災害や大きなトラブルなく完遂できた時は今までにない達成感を感じました。メーカーの方に親切に相談にのってもらったり、終盤につれて作業員の方が気さくに声をかけてくれたりして、人とのつながりの重要性を実感しました。

取材してみた team: オムライス school: 青森県立八戸北高等学校 左から 岩井原沙紀・川上穂乃香・石井音緒



岩井:日々当たり前のように使っている電気の発電について詳しくお話を伺いました。八戸火力発電所では長い歴史の中でたくさんの改良と進化を遂げて、安心、安全な電気を供給していることが分かりました。祭りへの参加など、個々の積極性にも圧倒されました。

川上:熱エネルギーをただ電気に変換するだけでなく、環境への配慮をした効率の良い発電方法を用いていることに驚きました。時代や環境の変化に合わせて技術の改善を図りながらも、地域の電気の8割を支えていることに尊敬の念を抱きました。

石井:東北電力初の火力発電所として、日本の電力を支え続けている歴史ある八戸火力発電所を見学できたことを大変うれしく思います。24時間365日休みなく、熱心に電力に向き合う姿を間近で見て、感謝を忘れずに電気を使っていきたいと思いました。



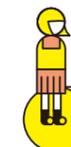
Q八戸に会社があるメリットは?

A.佐々木さん 火力発電所は新潟県にもあり、以前勤務していました。新潟県は日本海側のため天気が悪い時が多く、気持ちが沈んでいたことがありましたが、八戸は天気の良い日が多く、冬でも雪害が少ないため過ごしやすいです。
笹森さん 自然が豊かでご飯もおいしく、地元で働けるということも八戸に会社があるメリットだと思います。

八戸の魅力

Q会社はどのような形で地域に携わっている?

A.赤坂さん(総務) 私たちは地域の方々との交流を大切にしています。そのため、発電所周辺や種差海岸の清掃ボランティアはもちろん、三社大祭での清掃活動へも参加しています。そのほかにもおみこし運行に参加しています。また、次世代層の意識を高めるため、小学生から大学生まで幅広く見学希望者を受け入れたり、「青少年のための科学の祭典八戸大会」へ出展し、交流を深めています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

超効率発電!
コストと環境負荷低減のために、一度ガスタービンで発電をした約600℃の余熱を排熱回収ボイラーを通して回収し、水から蒸気をつくり、蒸気タービンによる発電をしているそうです。無駄のない発電をしていることに驚きました。



世界で活躍する真空総合メーカー 身近な製品を支える技術力

株式会社アルバック 東北工場

真空技術を利用した産業用機械などを開発、製造、販売しています。全国各地に工場を開設しており、東北工場の従業員数は約300人。神奈川県に本社があり、日本をはじめ、アジアや欧米などのグループ会社とも連携しています。社名の由来は「Ultimate in Vacuum(真空の極限を追求する)」。経営基本理念は「アルバックグループは、互いに協力・連携し、真空技術及びその周辺技術を総合利用することにより、産業と科学の発展に貢献することを目指す」。

取材した人 左から 竹ケ原彩乃さん 入社4年目 ・ 佐々木学さん 入社29年目



竹ケ原さんは十和田市出身。生産本部生産技術部東北工場管理部総務係で、広報業務を担っています。最近東北工場に配属になり、故郷での仕事を楽んでいます。佐々木さんは五戸町出身。生産本部生産技術部東北工場管理部FM環境労働安全係。社員の安全を守るためのサポートや、SDGsに関する活動を担当しています。

company profile :



業種 製造業
設立 1952(昭和27)年
住所 八戸市北インター工業団地
6丁目1-16



Q.入社のかっけは？

A.竹ケ原さん 実家から通うことができるからです。そして、世界的な技術を持った会社だと知り、入社したいと思いました。つい最近、本社から東北工場に転勤になったので、これからは東北工場の広報に力を入れていきたいです。
A.佐々木さん この会社は就職活動の時に知り、竹ケ原さんと同じく実家から通えることが魅力でした。機械が好きなので、自分の好きなことや得意なことに挑戦できそうだなとも思いました。

Q.職場の雰囲気は？

A.竹ケ原さん とてもいいと思います。具体的に言うと自由にチャレンジできるような安心感があるので、そこで成長することができます。自分のアイデアを発信しやすいところもすごくうれしいです。
A.佐々木さん 先輩たちはいろいろな知識を持っていて、いわゆる職人肌の方も多くいます。そんな先輩たちから指導してもらい、スキルアップができる会社だと感じています。最近はウェブでも勉強でき、これまで以上に成長できる環境が整っています。

Q.社員の安全を守るためにしていることは？

A.佐々木さん 5S運動(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底しています。最後のしつけは決して怖い意味ではなく、整理、整頓、清掃、清潔をしっかりやってもらうようにする(しつける)という意味です。そして作業場には「安全第一」のスローガンを掲げ、これを達成するために月2回巡視をして、不安全なところがないかの確認を行っています。気付いた点があれば社員に呼び掛け、改善するようにしています。

取材してみた team: まみむめ school: 青森県立八戸北高等学校 左から 平田茉愛・土井美奈実・大竹鳴美・藍原睦稀



平田: アルバックで製造している機械は、スマホの半導体など身近な物を作るための機械だということを知りました。多くの人が関わって真空を作り出している、身近な物が作られる過程の壮大さを感じました。

土井: アルバックは「真空」を基本的に、私たちが普段使っているような物の部品作りに貢献しているということを初めて知りました。物を使う時にありがたみを感じながら使いたいとあらためて思いました。

大竹: 会社に入ると、モニターに「ようこそ、まみむめ様」というお出迎いの表示があり、とてもうれしくなりました。完成が間近に迫っている製品まで見ることができ、貴重な体験ができました。

藍原: アルバックがどのようなことに取り組んでいるのか、どのようにして製品を作っているのかを知ることができました。そして、地域のまだ知らない魅力や企業の魅力もこの取材を通して知ることができたので良かったです。

八戸の魅力

Q.八戸の住みやすいと思うポイントは？

A.竹ケ原さん まずは気候ですね。関東と比べて涼しいというのは八戸の住みやすいと思うポイントです。そして、自然が豊かであるということも好きです。交通面も車で通勤がしやすくてとても便利だと感じます。
A.佐々木さん ご飯がおいしいのでとても住みやすい場所だと思います。

Q.会社はどのような形で地域に関わっている？

A.佐々木さん 地域社会への貢献活動として、海岸や会社の周りのごみ拾いを周辺の会社と協力しながら行っています。
A.竹ケ原さん 高校生のインターンや、工場見学も実施しています。地域貢献以外の地域との関わりについて言うと、当社の仕事は当社だけで解決できるものではなく、近隣のサプライヤーなどと協力して価値を生み出しています。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

企業訪問を通して、自分たちの身近なところにもアルバックの技術が使われていることを知り、すごいと思いました。



八戸の工業製品を全国へ 貨物輸送を担う鉄道会社

八戸臨海鉄道株式会社

地方自治体、企業などの出資により設立された、貨物輸送を目的とした鉄道会社。従業員は44人。経営方針は「安全最優先」。三菱製紙株式会社八戸工場の製品を輸送する鉄道事業を基軸とし、青い森鉄道の清掃業務などを受託しています。また、ミニSL乗車会など鉄道に親しめるイベントを通して、地域に貢献しています。鉄道貨物輸送は、地球環境への負荷低減や物流の2024年問題への対応において注目されている輸送手段です。

取材した人 左から 山道恒夫さん 入社10年目 ・ 中村直樹さん 入社13年目



2人も八戸市出身。山道さんは総務部長を務めています。元々は国鉄入社で、JR貨物に所属していました。地元での仕事にやりがいを感じながら働いています。中村さんは以前、機関士として勤務していました。現在は助役であり、駅長の補佐や裏方としてより良いサポートができるよう心掛けています。

company profile :



業種 鉄道業
設立 1970(昭和45)年
住所 八戸市長苗代上電子谷地9



Q.入社した理由は？

A.中村さん 転勤が少ないことに魅力を感じました。私は家庭を持っているので、単身赴任をしなくて済むことや、家族との時間が守られること、環境が変わらずに働ける安定感があることがとてもいいと思っています。

A.山道さん 国鉄からJR貨物に入社し、その後は八戸臨海鉄道に出向、転籍しました。私は八戸が地元なので、なじみや親しみのある環境で働けるという安心感がある点に魅力を感じています。

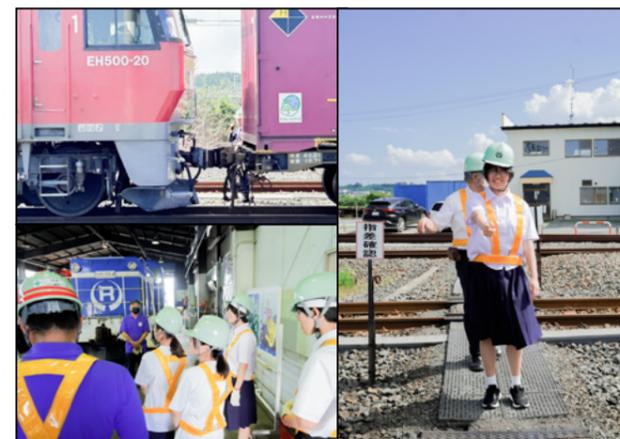
Q.職場の雰囲気は？

A.山道さん 本社ではそれぞれが黙々と仕事をこなし、休み時間などにコミュニケーションをとっています。メリハリのある和やかな職場です。会社として互助会に助成金を出していて、社員同士で旅行へ行ったり、ボウリング大会が開催されたりと、そこでも仲を深めることができます。人間関係においても働きやすいのではないかと思います。

A.中村さん 入社当時と比べて若い社員が増えました。雰囲気はとても良いです。プライベートでも食事に行くなど、よく交流があります。

Q.八戸にある企業としての目標は？

A.山道さん 新入社員を募集した時の面接で、当社の知名度の低さを実感しました。ホームページでの情報発信やイベントを通して、八戸臨海鉄道という会社をもっと知ってほしいです。人材不足という現状もあるので、当社のことを知ってもらって、興味を持ってもらい、入社につなげたいです。一つの作業をするのにもみんなで協力するので、コミュニケーション能力の高い方や、チャレンジ精神旺盛な方を求めています。



取材してみた team: まみむめ school: 青森県立八戸北高等学校 左から 藍原睦稀・大竹鳴美・土井美奈実・平田茉愛



藍原: 取材や鉄道乗車体験を通して、地域を走っている貨物列車がどのように運行されているか、どのような決まりがあるのかを知ることができました。そして、この地域について学ぶことができたので良かったです。

大竹: 貨物列車を実際に見てみると、とてもかっこよく愛着が湧いてきました。機関士のスケジュールがハードな時があっても大変だなと思うのと同時に、安全に貨物が運ばれていることに感謝しかないと感じました。

土井: 私は登下校と電車を使っています。同社で青い森鉄道の電車を清掃していると聞き、とてもありがたく感じました。電車に乗っている時に貨物列車とすれ違うことが多々あるので、手を振ってみようと思いました。

平田: JR貨物ネットワークの一角を担い、全国へ荷物を輸送していると知りました。機関車の運転席に座らせてもらい、レバーを動かしてみるとワクワクしました。機関車にはロマンが散りばめられていると感じました。



Q.会社はどのような形で 地域に関わっている？

八戸の魅力

A.山道さん 地域貢献活動として、ミニSL乗車会を行っています。子どもたちに小さな機関車に乗ってもらい、SL機関車に乗っている気分を味わってもらうものです。このほか、機関車の撮影会や乗車体験会は、全国各地から人が集まり、とても人気のあるイベントとなっています。

Q.八戸の住みやすいと思うポイントは？

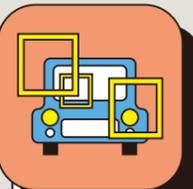
A.山道さん 三社大祭や館鼻岸壁の朝市が素晴らしいですね。私は温泉が好きなのですが、温泉が朝早くからやっているという点も魅力です。何よりもJR貨物に所属していた頃は、わが子が小学生から高校生になるまで単身赴任をしていたので、自宅がある八戸、家族がいる八戸がいいなと思います。

A.中村さん 雪が少なく、自然が豊かなことです。また、親の近くにいられて、いつでも助け合えることに安心感があります。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

機関車はとても大きく、汽笛が鳴って煙が上がった時には圧倒されました。運転室のレバーやメーターは、SFのジャンルのスチームパンクのような世界観が格好良く、そこから見る景色は特別なものを感じました。

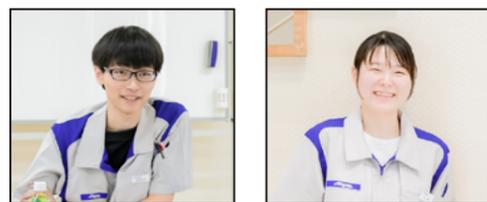


多様な業界・分野でのシェア1位 良い物を作るため挑戦続ける

多摩川精機株式会社 八戸事業所

車両用センサを始め、制御用モーターおよびセンサ・板金他、各種制御装置の研究開発と製造を行っています。高精度センサ技術を応用したモーションシステムは、宇宙産業分野へと活躍の場を広げています。また、ハイブリッド自動車用センサ世界シェア1位をはじめ、複数の業界・分野で世界・国内シェア1位を誇っているそうです。昨年話題となった「はやぶさ2」へも搭載されており、海底から宇宙まで世界中で幅広く活躍しています。

取材した人 左から 田野岡直樹さん 入社2年目 ・ 川原愛莉さん 入社1年目



田野岡さんは八戸市出身で所属部門は技術課。趣味はゲームをすることと、旅行に行くことだそうです。
川原さんは六戸町出身で、所属部門は品質課。趣味は旅行やライブに行くことだそうです。

company profile :



業種 製造業
設立 1938(昭和13年)
住所 八戸市北インター工業団地 1丁目3-47



Q.入社のきっかけは？

A.田野岡さん 学生時代にロボットコンテストで設計をしたことで面白さに気づき、設計の仕事に興味を持ちました。また、近くに家族や友達がいるという安心感から、地元で就職したいという思いもありました。
川原さん 関東の大学に進学しましたが、地元で就職したいと思うようになり、インターンシップに参加しました。そこで、高い技術と安全に製品を届ける姿勢を間近で知ることができて、ここで働きたいと強く思ったのが入社のきっかけです。

企業の魅力

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる？

A.田野岡さん モーターの性能を良くするために、試作をして、評価試験を実施します。失敗した時に、なんでそうなったのか、どうすればもっとよくなるのかを、試験結果から考察していくのがとても面白いと感じます。
川原さん 勉強したことが、実際の現場でこんな風に反映されているのだと気付くことができたときに面白さを感じます。

Q.この会社の良いところは？

A.田野岡さん 技術力が高く、航空、宇宙、鉄道など幅広い分野で活躍していることです。また、どこの部署でも優しい人が多く、話しやすく相談しやすい環境になっています。
川原さん 学びや経験をとても大事にしてくれるところがとてもいいと思います。

取材してみた team: くぼささじん school: 青森県立八戸高等学校 左から 神蒼空・久保織音



神: 初めて見る物が多く、たくさんの新しい知識を得ることができました。普段あまり目にするものではないけれど、とても重要な役割を担っているものばかりで、それを責任を持って安全に作っていることを知ることができて、とても良い経験になりました。

久保: 日常生活で直接的に見ることは少ないけど、モーターがなければ成り立たないものがたくさんあることがわかりました。懇親会や夏祭りなどが行われたり、とても温かい雰囲気な会社でした！



Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.田野岡さん 他の県や地域と比べてみると、気温や降雪量が穏やかで生活しやすいと思います。
川原さん 人混みが少なく、車移動が基本であるということがとてもいいと思います。また、新幹線などもあるので東京に出やすく、旅行にも行きやすいところもいいと思います。

八戸の魅力

Q.県外、市外の人にPRしたいところは？

A.田野岡さん 館鼻岸壁朝市や、おいしい海鮮などが食べられる八食センターなど、たくさんあると思います。
川原さん 海鮮がとてもおいしく、そして安く買えるところがとても魅力だと思います。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

技術力がとても高く、安全・安心に製品を届けることをモットーとしている多摩川精機株式会社。製造しているモーターやセンサの高い汎用性を生かし、産業分野だけでなく、航空・宇宙分野にまで活躍の場を広げています。ずっと進化している理由には、良い物を作ろうと挑戦し続ける社員の皆さんの努力が大きく関わっていることがわかりました。



主に自動運転や自律航法用の部品製造 目標は「八戸から月に火星に」

多摩川モバイル電装株式会社 八戸工場

親会社である多摩川精機の製造子会社として、三沢工場ではハイブリッドカーに搭載される角度センサー、八戸工場ではスマート農機やICT建機の姿勢制御に利用するジャイロ、またその応用品を製造しています。姿勢を予測し横転を防止する安全装置や田植え機がふらつかないように直進制御するためのセンサで安定した需要が見込まれています。ジャイロを応用した車や飛行機などの姿勢角及び方位検出に使用される慣性計測ユニットも、今後成長が見込まれているそうです。

取材した人

上段左から 植森勇樹さん 入社15年目・三浦良太さん 入社5年目・柳田明日美さん 入社5年目
下段左から 谷内雅紀さん 入社15年目・柴田真紀さん 入社6年目



谷内さんは石川県輪島市出身で、取締役として工場をまわっています。三浦さんと植森さんはともに八戸市出身。ジャイロ製作課に所属しています。柳田さんは三沢市出身。情報システム課で社内のパソコンやネットワークの管理、プログラムの開発をしています。柴田さんは七戸町出身で、生産管理課で梱包や出荷を担当しています。

company profile :



業種 製造業
設立 2008(平成20年)
住所 八戸市北インター工業団地
1丁目147



Q.入社のかっけは？

A.柴田さん 以前働いていたのと同じ製造業で、給料や勤務時間が希望通りだったからです。
柳田さん 関東でシステム開発の会社に勤めていたため、今までの経験を生かせると思ったからです。あと、通勤しやすいことも理由の一つです。

企業の魅力

Q.働きやすさについて教えてください

A.柴田さん 9時から16時30分までの勤務で、家事との両立や自分の時間など、ワーク・ライフ・バランスを取ることができます。
植森さん 有給休暇が取りやすいです。子どもがいるのですが、突発的な休みにも対応してもらえるのがありがたいです。

Q.どんな時に達成感や面白さを感じますか？

A.柳田さん 主に社内の人に向けての仕事をしているため、良い、悪い評価がすぐに届きます。その中で、イメージ通りだと言ってもらえた時がうれしいし、達成感を感じます。
三浦さん 物作りが好きなので、お客さまのニーズに合った物を作り、無事に出荷できた時にやりがいを感じます。

取材してみた team: くぼささじん school: 青森県立八戸高等学校 左から 神蒼空・久保織音



神: 普段の生活では、あまり目にする物ではないけれど、とても大切な部品を製造していることが分かりました。自分たちの仕事にやりがいと誇りをもって仕事に取り組む姿が、とても印象に残っています。世界で活躍することを目標に、高い技術力をさらに高めていく姿に、心を打たれました。

久保: 「八戸から月に、火星に」という言葉がとても心に残りました。開発は失敗が多いそうですが、成功した時の喜びはとても大きいと聞き、それだけの努力をしているんだなと思いました。普段は自分に直接的な関わりはないけれど、とても大きな役目を果たしている会社だと知ることができました。



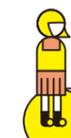
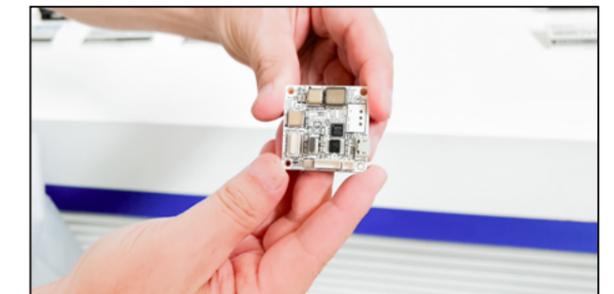
Q.八戸で住みやすいと思うポイントは？

A.植森さん 年に何回か大雪が降るくらいで、基本的に大きい災害が少ないことです。
三浦さん 交通の便が良いところだと思います。八戸駅からは新幹線が、近くの三沢空港からは飛行機があるため、旅行に行く時に使うから便利です。

八戸の魅力

Q.会社はどのような形で地域に関わっている？

A.谷内さん ゴミ拾いをするクリーン作戦や、交通安全指導を行っています。八戸商工会議所に入っているため、八戸市に対する要望を出すこともあります。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

もっと企業として大きくなるため、基地建設のためのロボット機器を月や火星に持って行くという「八戸から月に火星に」という、取締役である谷内さんの明確な目標がありました。立場上の仕事ではなく、仲間として本当の役割を果たしてほしいという思いが、企業を成り立たせているのではないかと感じました。お客さまに安全と安心を届ける、製品の質はつくる人の質にも関わっている。人間性はあらゆるところで重要になるんですね！



生活に欠かせない電気設備 技術を磨き、安全に施工

株式会社河原木電業

50年以上続く歴史のある企業。本社のほか、関東営業所と六ヶ所営業所があります。事業内容は、電気工事を通して電気の使用環境を整備することや、通信工事によりネットワークインフラを構築すること。また、メンテナンスや省エネルギー・再生可能エネルギー設備の販売・施工、介護施設の運営などさまざまな事業を展開しています。従業員は約60人。「人が、街が、環境が喜ぶ未来へ」を企業理念に掲げ、「誠実と考動」を基本姿勢としています。

取材した人 清水蘭丸さん 入社5年目



八戸市出身。八戸工業大学機械科卒業。工務部に所属し、住宅から大型施設まで幅広く電気工事を担当しています。狭い場所での作業も得意です。

company profile :



業種 電気工事業、電気通信工事業など
設立 1973(昭和48)年
住所 八戸市江陽2丁目11-13



Q.入社きっかけは？

A.電気工事業の会社として地元で大きな企業で、家から近かったからです。また、大規模な工事も請け負っていて、仕事内容にも興味を持ち入社を決めました。大学では機械科に在籍していましたが、親が機械設備関係の仕事をしていたので、違う仕事に挑戦してみようと思いました。

企業の魅力

Q.職場の雰囲気は？

A.共に働いている人たちの人柄が良く、先輩ともコミュニケーションを取りやすいです。釣り部やゴルフ部、地域のイベントに参加する「八六部」といった部活動が盛んで、自由に参加することができます。また、地元出身者が多いので、方言を使いやすいのもうれしいです。

Q.職場の働きやすさは？

A.資格取得の受験料を会社が全額負担してくれるので、積極的にいろいろな資格に挑戦することができます。電気工事士1種・2種や施工管理1級、消防設備士、通信の施工管理などの資格を取得する社員が多いです。このほか、30代以上の先輩の技術の高さに驚かされます。私が困った時にもすぐにフォローしてくれます。

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる？

A.夏には外で作業することが多く、炎天下での作業が続くので負担も大きいですが、建物に電気が通った時は大きな達成感が得られます。また、他の会社の方から「河原木電業さんの仕事なら協力するよ」と言ってもらえることが多く、そのことが誇りです。私も周りの方に信頼してもらえるように仕事に励みたいです。

取材してみた team: あらわたやま school: 青森県立八戸高等学校 左から 渡辺二湖・山本怜紗・新井織心



渡辺: スイッチの裏側や仕事道具など、普段なら見ることがないであろうものをたくさん見せていただきました。お話と合わせてそのようなものを見ると、技術と合わせてそのようなものを見ると、危険と隣り合わせで働いていることを知り、尊敬の気持ちを抱きました。

山本: 特に心に残ったのは、清水さんと、会社を案内してくれた駒井さん(入社7年目)の関係性です。先輩と後輩が笑い合いながらお話をされていて、とても温かい職場なんだろうと感じました。自分の将来の選択肢が広がり、もっと電気について知りたいと思いました。

新井: 取材の後、家に帰るとコンセントやLEDライトなどが至る所にあって、生活する上で電気工事の企業がとても大切であることが分かりました。社員の皆さんが長袖長ズボンを着ているのは、作業をする上で自分の身を守るためだと教えていただきました。

Q.会社はどのような形で地域に関わっている？

A.業務内容自体が地域の皆さんの暮らしに関わっています。例えば、学校の分電盤工事をしたり、町の体育館の改修工事でスピーカーを撤去したりと、さまざまな関わりがあります。また、屋外の照明ポールの電灯交換もしていて、作業中に落下しないように細心の注意を払っています。また、地域での清掃活動や植林活動などボランティアに力を入れています。

Q.八戸の好きなところは？

A.私にとって八戸は育ってきたまちなので、とても過ごしやすいです。山や川、海などの自然が多く、海産物や農産物もおいしいです。田舎っぽくない田舎、都会っぽくない都会のような感じも気に入っています。中心街にお酒を飲めるお店が多いのもうれしいですね。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

社員の皆さんの信頼関係を感じました。社員みなでご飯を食べられるようなスペースがあったり、学校のように自由に参加できる部活があったりして、私たちもこのような温かい企業に入社したいと思いました。



ソフトウェアやシステムを開発 オーダーメイドで期待に応える

株式会社ソフテック 八戸事業所

1988年、青森県および八戸市からの誘致を受けて八戸市へ進出しました。産業用アプリケーション開発、産業用マイコンシステム開発、PLC(制御装置)用ソフトウェア開発、監視制御システム構築などを手がけ、他企業から依頼を受けてオーダーメイドで開発する「受託開発」を行っています。また、依頼先ではなく、自社内で開発を行う「持ち帰り専門」で、エンジニアの育成に力を入れています。従業員は八戸事業所15人、東京にある本社事業所32人。

取材した人 面内晋太郎さん 入社2年目



八戸市出身。八戸工業大学工学部電気電子工学科卒業。同社技術部に所属し、これまでに飲料工場のPLC用ソフトウェアなどを開発しました。

company profile :



業種 産業用ソフトウェア・
制御系システムの受託開発
設立 1987(昭和62)年
住所 八戸市北インター工業団地
1丁目3-76



Q.入社のきっかけは?

A.以前は関東で仕事をしていましたが、家族が青森に住んでいることからUターンを決意しました。手に職をつけたいという思いがあり、当社がいろいろな工場で使われているPLCのソフト開発をしているという点に魅力を感じました。基本給や休日数、福利厚生などが東京の本社と同じ条件というのもこの会社の良さです。

企業の魅力

Q.職場の働きやすさは?

A.東京の本社に比べて、八戸事業所の方が和気あいあいとした雰囲気です。休憩時には仕事以外のことを話すなど、楽しく過ごせています。また、フレックス制度が導入されていることも働きやすさにつながっています。月の総労働時間は決まっていますが、日々の始業時刻や終業時刻、働く時間を自分の都合に合わせて決めることができます。

Q.企業の良いところ、この会社で働いていて誇りに思うことは?

A.いろいろな業界の案件に関われることです。PLCはさまざまな工場の機器に使われているので、プログラムの知識だけではなく、工場で作っている製品の知識も得られるのが当社の良いところだと思います。このほか、他の企業とは違い、分業しない点も当社の特徴です。エンジニアが営業から開発、納品まで全てを行うので達成感があります。

Q.入社して驚いたことは?

A.さまざまな取引先があり、大手の会社との取引が多いことに驚きました。日本の最先端技術がある会社に対して、自分たちが作ったシステムを納品できます。地方にいながら、時には日本で初めての試みとなる仕事や、世界に向けた仕事ができる会社です。



Q.八戸に会社があるメリットは?

A.満員電車がなく通勤しやすいところや、気候が過ごしやすいところです。また、八戸から首都圏への出張には費用や時間を要しますが、その分1回の出張で仕事を成功させようという気持ちになり、念入りに準備することやモチベーションの向上につながります。距離的な制約はメリットでもあると思います。

八戸の魅力

Q.八戸の好きなところは?

A.朝のうみねこラインを自転車やバイクで走るのが好きです。静かで人がいなくて、いい意味で田舎だな、きれいだなと感じます。自然豊かな八戸で暮らしながら当社に勤務して、全国各地の案件に関われることをうれしく思います。八戸事業所は若手が少ないので、入社してもらえるようにPRしていきたいです。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

事業所内におしゃれな暖炉がある!広いスペースとなっており、従業員のコミュニケーションの場として作られたそうです。



取材してみた team: あらわたやま school: 青森県立八戸高等学校 左から 渡辺二湖・新井織心・山本怜紗



渡辺:実際に企業を訪問してみると、一人一人が自分の仕事に誇りを持って働いていることが分かりました。私も自分の仕事について、愛を持って語れるような職場で働きたいです。また、八戸事業所と東京の本社でビデオ通話をした際、とても雰囲気が良くて印象的でした。

新井:同社の最大の魅力は、仕事を通していろいろなジャンルの知識を身につけられることだと感じました。ビデオ通話で3人の女性社員とお話した時、男女関係なく自分の好きなことに熱中して、誇りと責任を持って働けることがいかに素晴らしいかを知ることができました。

山本:一つの企業の中でも、さまざまな分野の仕事をしている人がいるということが印象に残りました。今回お話を聞いたシステムだけでも、農業に関わるものや食品工場に関わるもの、医療に関わるものがある、学びを生かすことができる環境が整っているなと感じました。



扱える製品のサイズは東北最大級 空調服支給や資格取得補助で手厚い福利厚生 株式会社高橋製作所

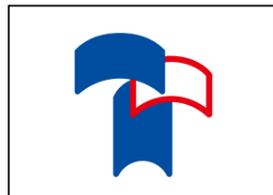
八戸市内に3棟の自社工場を保有している。従業員数は約90人。経営理念は「お客さまの信頼を得る」、「技術を高めていく」、「人を大切にする」の三本柱。主に工場内のクレーンやコンベア、ダクトといった大型機械設備を製作・販売している。扱える製品のサイズ・重量は東北最大級。設計、製作、据え付け、メンテナンスの一貫対応で顧客のニーズに応えるモノづくりが特長。

取材した人 左から 田中大志さん 入社6年目 ・ 谷藤慎吾さん 入社14年目



田中さんは八戸市出身。代表取締役社長として、未来の高橋製作所の方向性を決める業務をしています。社員が働きやすい職場環境を目指しているとのことでした。谷藤さんも八戸市出身。所属部署は営業技術部営業課で作業の現場監督と、営業を行っています。

company profile :



業種 建設業(産業機械設計・生産・据付・メンテナンス)
設立 1946(昭和21)年
住所 八戸市河原木字浜名谷地 76-344



Q.職場の雰囲気は？

A.谷藤さん 非常に良いと思います。工業分野の企業は、どうしても上下関係が厳しいイメージがありますが、実際はそんなことはなく、ほとんどの職人さんが笑顔で仕事をしています。年上の先輩にも冗談を言うこともあるほど和気あいあいとしていますね。ただ、真剣に取り組むべきところでは、しっかりとやり遂げるというメリハリもあって、面白い職場です。

Q.職場の福利厚生は？

A.谷藤さん 必要な資格を取るためのテキストや受験費用は会社が経費でサポートしてくれたり、熱中症対策で職人さんたちに空調服が支給されたりと、手厚いサポートがあります。また、社員のプライベートも重視していて、本社には清潔を保つための銭湯・サウナが備えついている上に、ピアドゥ前には福利厚生の施設として自社保有のフットサルコートがあります。このような施設で疲れを癒したり、社員同士で遊んだりすることが日々の活力になっています。

Q.企業としてどんな人材を求める？

A.田中さん 最も求めているのは「多様な人材」です。多様というのは、価値観とか性格のことで、いろいろな人がいると会社も面白い方向に変化していくと思っています。また、私たちは社員が会社に定着することだけを目的としていません。個人それぞれが高いパフォーマンスで働けるようにすることを一番大事にしています。今いる社員を大事にすることが、結果的に働き続けてもらうために大切なことだと考えています。

取材してみた team : サザナミ school: 青森県立八戸工業高等学校 左から 山舘利流・村田友寿紀・高橋有輝・下野漣



山舘：大型クレーンを自社製造していることに驚きました。巨大な機械の存在感は圧巻で、工業生にとってワクワクする体験でした。職人さんの楽しそうな仕事ぶりから、温かい企業だと感じました。

村田：大型機械の製作だけではなく据え付けや補修、メンテナンスまで対応していました。自社でクレーンも製作もしており、幅広い業務内容でお客さまのことを一番考えている印象を強く受けました。

高橋：会社に活気とさすがさがあり、効率的な生産ラインと職人さんの技術力、製品への誇りが感じられました。空調服を支給するなど福利厚生がしっかりしている会社でもあり、憧れる企業でした。

下野：製造工場を見学する貴重な経験となりました。取材前の下調べでは知ることのできなかった職場の温かい雰囲気や丁寧な仕事の様子を見ていて、このような雰囲気の職場で働ければ良いと思いました。

Q.会社はどのような形で地域に関わっている？

A.田中さん 私たちは素材産業や製紙業といった地域の産業を下支えすることで、地域経済に貢献しています。例えば、ベルトコンベヤーやクレーンなどの工場設備が故障した時には、私たちが対応することで、迅速かつ低コストで問題を解決できます。このように、地域の企業をサポートすることで、産業が地域に根付く助けとなり、経済や雇用の活性化にも寄与しています。また、八戸花火大会や八戸三社大祭といった地域イベントにも協賛し、地域との関係を深めています。

Q.八戸の好きなところ、市外や県外の人にPRしたいと思ういいところは？

A.谷藤さん まちと自然が調和しているところです。車でいける範囲で大抵のことは済みますし、種差海岸のようなきれいな自然、海産物のおいしさは魅力です。海上輸送に適した港の存在も強みだと思います。特に仕事終わりにおいしいご飯が食べられるのはうれしいですね。後は、八戸三社大祭やえんぶりなどの祭りや郷土芸能があることも他にはない強みだと思います。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ！

スタジアム開閉用ウインチャや水門、大型タンクなど、多岐に渡る製品を手掛けるだけではなく、経験のない難題に対しても楽しんで取り組む姿勢が素晴らしいと感じました。いかなる困難な案件にも挑戦し、技術力を磨き続ける姿勢に感銘を受けました。



日本一の修理屋目指す総合修理メーカー 古い機械をよみがえらせる高い技術が売り ハード工業株式会社

八戸市内に本社工場と溶射専門工場、金属粉末研究所を保有。分解調査から仕上げ・検査・試運転までワンストップで行える産業機械の総合修理メーカー。従業員数39人。経営理念は「正しい価格で良い技術を提供する」。主にハードフェーシング(溶射に代表されるメッキのような技術)による機械修理・補修を行っている。30~40年前の製品も修理しており、不足しているパーツを製造することもある。

取材した人

左から 清川圭太さん 入社23年目 ・ 迎町龍星さん 入社3年目
宮崎匡平さん 入社7年目



3人の方々はいずれも八戸市出身。清川さんは、副社長として明るい職場づくりにまい進中。迎町さんは溶射課で、主に溶接やプラスト加工を行っているそうです。宮崎さんは電動機課で、修理を依頼された機械の分解・組み立てを担当しています。

company profile :



業種 生産設備修理・補修
設立 1991(平成3)年
住所 青森県八戸市北インター工業団地5丁目2-26(本社)



企業の魅力

Q.どんな時に達成感や面白さを感じる?

A.清川さん 初めて見た機械を分解して修理し、組み立てた後に機械が無事に動いた時です。経験したことのない仕事に挑戦した時など、苦労が実った瞬間はやはり達成感を強く感じます。また、私たちは一つ一つの仕事に対して丁寧に協議をして仕事に取り組んでいます。修理をする機械の中には30~40年前につくられたものもあり、部品が無かったり、内部の構造がわからなかったりするものもあります。そういった案件でも、諦めずに取り組むことは面白いですね。

Q.企業の良いところは?

A.宮崎さん 福利厚生がしっかりしているところです。自動車の中型免許のように仕事に必要な免許は、会社が経費を負担してくれるところは非常にありがたいです。また、休日が年間で事前に決められているので、旅行などの計画が立てやすく、家族との時間も十分にとることができ、仕事をする上での支えになっています。

Q.八戸にある企業として、どんなことを目標にしていきたいですか?

A.清川さん 『日本一の修理屋』を目指しています。これは10年ほど前から社長自らが掲げている目標で、私たちの溶射やプラストといった修理技術と、八戸というまちを全国に広めていきたいという思いから生まれた目標です。しかし、あくまでも日本一は通過点であり、いずれは海外や、火星にまで事業をどんどん拡大していきたいと考えています。そのために私たちは、個々の技術を磨き、日々努力をしています。



八戸の魅力

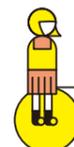
Q.会社はどのような形で地域に関わっている?

A.清川さん ハード工業は製紙工場やセメント工場のような八戸最大級の設備の修理・補修をしており、地域社会の産業や経済の維持・成長に重要な役割を担っていると思います。他にも、まちおこしの一環として、株式会社カネク醸造という会社も運営しており、地元でクラブトビールの製造販売を行うことで、観光客増加や地産地消といった地域の発展と活性化に寄与していると思います。

Q.八戸の住みやすいポイントは?

A.宮崎さん 交通網に恵まれているところです。東京は新幹線を使えば3時間以内で行けますし、北海道や仙台へのアクセスも良好です。伝統行事も盛んで、八戸三社大祭などのお祭りがとても盛り上がるので活気にあふれています。

迎町さん 八戸の近隣にはスキー場や八甲田山の美しい自然もあり、四季折々の風景を満喫できます。さらに、少し足を延ばせば北海道などにアクセスでき、田舎過ぎず、都市の便利さも感じられるためバランスが絶妙です。



高校生の視点 この会社ここがスゴイ!

ハード工業さんは、ハードフェーシングという耐摩耗性を高める技術を用いることで、修理をした上でさらに強度を上げて納品できると知り、とても驚きました。また、依頼の中には30~40年前に廃業したメーカーさんの製品を修理することもあり、お客さんの要望をかなえたいという強い情熱が伝わってきます。



取材してみた team: サザナミ school: 青森県立八戸工業高等学校 左から 村田友寿紀・高橋有輝・山舘利流・下野漣



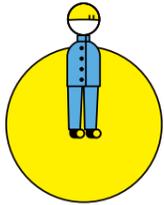
村田: 大型ポンプから小さな攪拌部品、産業機械まで多種多様な製品の修理している上に、摩耗しにくくする加工、大きな手持ち吹き出し花火のような溶射技術など多彩な技術を持っているので感銘を受けました。

高橋: 業界でトップクラスの技術を持つハード工業さんには、池井戸潤作「下町ロケット」に近いものを感じました。金属粉末について研究をしていくことで、今後の活躍の様子も調査したいです。

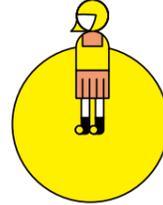
山舘: 溶射加工は見たことも聞いたこともない技術でしたが、実際に工場へ行ってみると、火花を吹き付けて加工をしている様子を見て、私も工業高校でこのような技術を学べたら良いなと思いました。

下野: 溶射やプラストは表面塗装をはがしたり、磨いたりするのに必要な技術だと教えてもらい、とても興味深かったです。修理を通して品質向上に貢献しているのを知り、奥深さを知ることができました。

活動紹介



チャームエイトは7月のキックオフミーティングを皮切りに本格スタートしました。高校生は勉強会を通じて取材の仕方を学んだ後、グループに分かれて調査活動を展開。8月には企業を訪問し、各事業所や地域の魅力を探りました。その後、取材レポートを基に記事を仕立て、1冊のe-bookが完成。1月には半年以上にわたる取り組みの集大成となる成果発表会がありました。



活動1 2024.7.24.wed 事前勉強会

事業の内容や目的を確認し、自己紹介で互いに理解を深めました。地域活性化教育支援ネットワークの長谷川さんを講師に迎えて取材する地域の産業を学び、キックオフミーティングに備えました。



活動2 2024.7.25.thu キックオフミーティング

本格的な調査の前に訪問企業の担当者と顔を合わせました。まずは事業の目的や流れを確認し、ゴールを共有。最初は緊張していましたが、企業の方が丁寧に説明してくださり、事業内容に理解を深めることができました。



活動3 2024.7.29.mon 魅力調査活動に向けた勉強会①

調査をスムーズに進めるため、新聞社のライターやプロのカメラマンの話を聞きました。グループワークを通じて取材の心構えや話を聞き出すポイント、写真の撮り方を学習。調査の流れなども確認しました。



活動4 2024.7.30.tue 魅力共有会ワークショップ

フリーライターの栗本千尋さんから話を聞きました。魅力を引き出す取材の仕方や、質問の考えは調査活動に活きそうです。



活動5 2024.8.5.mon-8.21.wed 企業・暮らしの魅力調査活動

いよいよ調査活動。元気なあいさつで緊張を吹き飛ばし、取材を行いました。各企業の若手からベテランまで、幅広い年代の方々にインタビュー。写真撮影や取材にも徐々に慣れ、高校生の視点で各企業の魅力を探りました。



活動6 2024.12.26.thu 成果発表会ミーティング

プロジェクトの集大成となる成果発表会に向けて、活動発表の内容についてフリーライターの栗本さんからアドバイスを頂きました。スライドの見せ方などの工夫について学んだので、より魅力的な発信ができそうです！



活動7 2025.1.26.sun 成果発表会

成果発表会当日！緊張しながらも今まで調査した企業と地域の魅力を頑張って発表出来ました！地元で働くこと、地域の魅力により気付くことが出来た気がします！



CHARM
EIGHT

高校生による地元企業魅力発見体験事業

八戸市商工労働まちづくり部 産業労政課